



2025年度 第2四半期（4-9月） 決算説明会

コマツ出席者

代表取締役社長（兼）CEO

今吉 琢也

代表取締役（兼）専務執行役員CFO

堀越 健

執行役員経営管理部長

菱沼 聖史

2025年10月29日（水）

目次

I. 2025年度 第2四半期（4-9月）決算の概要 <P3-P13>

P4-P6	: 2025年度 第2四半期（7-9月）の概要
P7-P8	: 2025年度 上期（4-9月）の概要
P9-P10	: <建設機械・車両> 2025年度 上期（4-9月）の状況
P11	: <リテールファイナンス> 2025年度 上期（4-9月）の状況
P12	: <産業機械他> 2025年度 上期（4-9月）の状況
P13	: 連結貸借対照表とフリー・キャッシュ・フロー（FCF）

II. 2025年度の業績見通し <P14-P30>

P15-P17	: 2025年度の見通し
P18-P19	: <建設機械・車両> 2025年度の見通し
P20	: <リテールファイナンス> 2025年度の見通し
P21	: <産業機械他> 2025年度の見通し
P22-P26	: <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し
P27-29	: <建設機械・車両> 鉱山機械の市場動向・需要推移・売上高の見通し
P30	: <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し

参考資料 <P31-P46>

P32-P36	: 四半期毎の状況
P37-P43	: <建設機械・車両> 一般建機・鉱山機械別の状況・見通し
P44	: Komtrax 月平均稼働時間推移
P45-P46	: BBLシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I . 2025年度 第2四半期（4-9月）決算の概要

2025年度 第2四半期（7-9月）決算の概要

- ・売上高は、前年同期比▲2.6%減収の9,821億円。
- ・営業利益は、前年同期比▲6.7%減益の1,367億円。売上高営業利益率は、▲0.6ポイント低下し13.9%。
- ・純利益は、前年同期比▲8.1%減益の845億円。

金額単位：億円	2024年度7-9月 ¥152.4/USD ¥165.6/EUR ¥101.5/AUD	2025年7-9月 ¥147.3/USD ¥171.3/EUR ¥96.0/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	10,082	9,821	▲ 262	▲ 2.6%
セグメント利益	1,474	1,377	▲ 97	▲ 6.6%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 9	▲ 10	▲ 1	-
営業利益	1,464	1,367	▲ 98	▲ 6.7%
売上高営業利益率	14.5%	13.9%	▲ 0.6ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 183	▲ 96	+87	-
税引前四半期純利益	1,281	1,271	▲ 10	▲ 0.8%
当社株主に帰属する四半期純利益	920	845	▲ 75	▲ 8.1%

2025年度 第2四半期（7-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比▲4.1%減収の8,973億円。セグメント利益は、前年同期比▲11.8%減益の1,197億円。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比▲2.5%減収の305億円。セグメント利益は、前年同期比+4.9%増益の75億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+23.9%増収の635億円。セグメント利益は、前年同期比約3.3倍の94億円。

金額単位：億円		2024年7-9月		2025年7-9月		前年同期比	
						増減	増減率
売上高		10,082		9,821		▲ 262	▲ 2.6%
	建設機械・車両	(9,332)	9,359	(8,950)	8,973	(▲ 382) ▲ 386	(▲ 4.1%) ▲ 4.1%
	リテールファイナンス	(243)	313	(242)	305	(▲ 1) ▲ 8	(▲ 0.5%) ▲ 2.5%
	産業機械他	(507)	512	(629)	635	(+122) +123	(+24.0%) +23.9%
	消去		▲ 102		▲ 92	+9	-
セグメント利益		14.6%	1,474	14.0%	1,377	▲ 0.6ポイント ▲ 97	▲ 6.6%
	建設機械・車両	14.5%	1,357	13.3%	1,197	▲ 1.2ポイント ▲ 160	▲ 11.8%
	リテールファイナンス	22.9%	72	24.6%	75	+1.7ポイント +3	+4.9%
	産業機械他	5.5%	28	14.8%	94	+9.3ポイント +66	+234.9%
	消去または全社		17		10	▲ 6	-

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

売上・利益は、販売価格改善を進めたものの、主要通貨で為替が円高になったことに加え、物量減とコスト増の影響により減収減益。

■ リテールファイナンス

売上は、主に為替の影響により減収。利益は、主に資金調達コストの低下により増益。

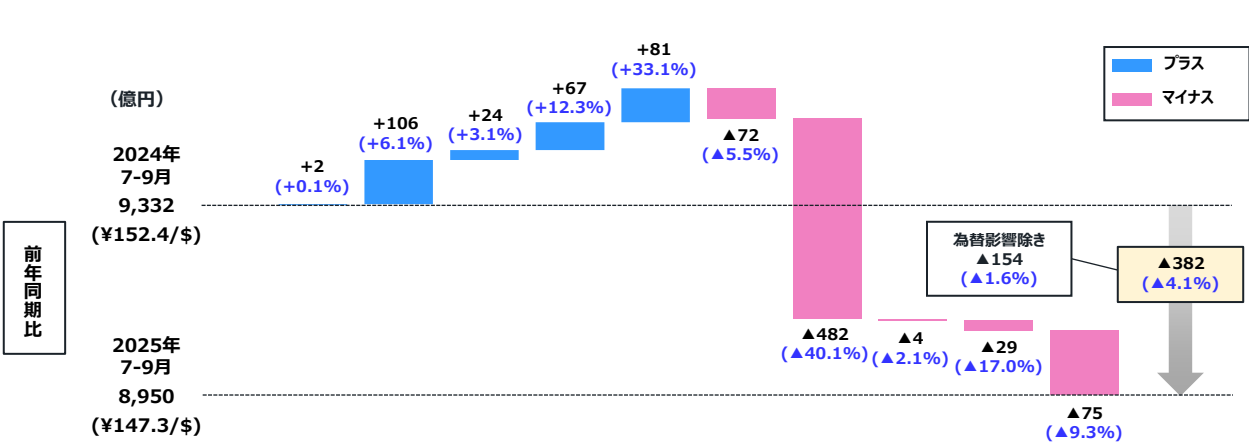
■ 産業機械他

売上・利益は、自動車産業向けでは主に大型プレスの販売が増加、半導体産業向けでは利益率の高いエキシマレーザのメンテナンス売上が増加したことにより増収増益。

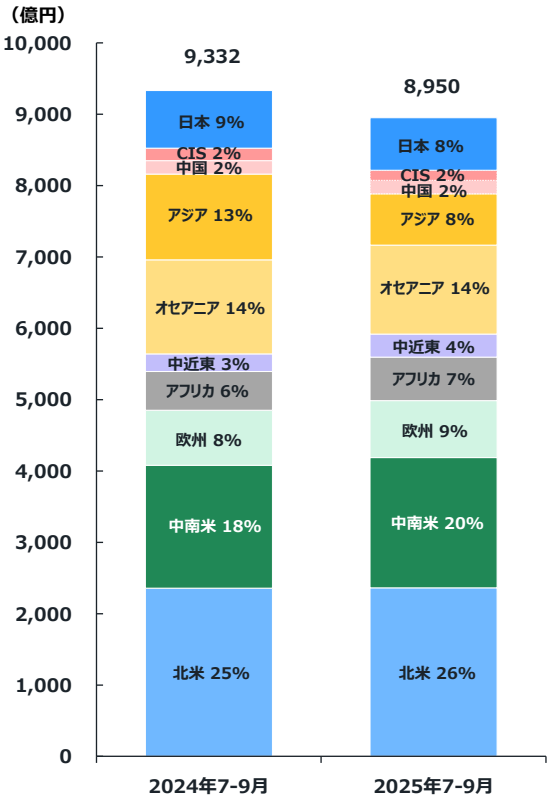
% ： 利益率 （ ）： 外部顧客向け売上高

<建設機械・車両> 2025年度 第2四半期（7-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比▲4.1%減収の8,950億円。為替影響を除くと、前年同期比▲1.6%の減収。
- ・アジアでは、インドネシアでの石炭価格の下落や公共投資削減により鉱山機械・一般建機の売上がともに減少。



(億円)	米州		欧州 アフリカ 中近東			オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年 7-9月	2,359	1,720	772	543	245	1,317	1,202	192	173	808	9,332
2025年 7-9月	2,361	1,826	797	610	327	1,245	720	188	143	734	8,950
増減	+2	+106	+24	+67	+81	▲ 72	▲ 482	▲ 4	▲ 29	▲ 75	▲ 382
増減 (為替影響除き)	+81	+164	+3	+73	+88	▲ 5	▲ 463	+2	▲ 24	▲ 75	▲ 154



2025年度 上期（4-9月）の概要

- ・売上高は、前年同期比▲3.9%減収の1兆8,916億円。
- ・営業利益は、前年同期比▲8.7%減益の2,771億円。売上高営業利益率は、▲0.8ポイント低下し14.6%。
- ・純利益は、前年同期比▲12.9%減益の1,757億円。

	2024年/ 上期 ¥153.9/USD ¥166.5/EUR ¥101.7/AUD	2025年/ 上期 ¥146.4/USD ¥166.9/EUR ¥94.3/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	19,681	18,916	▲ 765	▲ 3.9%
セグメント利益	3,039	2,777	▲ 262	▲ 8.6%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 5	▲ 6	▲ 1	-
営業利益	3,034	2,771	▲ 264	▲ 8.7%
売上高営業利益率	15.4%	14.6%	▲ 0.8ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 248	▲ 187	+61	-
税引前中間純利益	2,787	2,584	▲ 203	▲ 7.3%
当社株主に帰属する中間純利益	2,017	1,757	▲ 260	▲ 12.9%
1株当たり配当金（円）	83円	95円	+12円	

2025年度 上期（4-9月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比▲4.8%減収の1兆7,422億円。セグメント利益は、前年同期比▲13.0%減益の2,420億円。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比▲1.3%減収の610億円。セグメント利益は、前年同期比+13.9%増益の169億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+10.5%増収の1,069億円。セグメント利益は、前年同期比約2.1倍の166億円。

金額単位：億円		2024年/上期		2025年/上期		前年同期比	
						増減	増減率
売上高		19,681		18,916		▲ 765	▲ 3.9%
	建設機械・車両	(18,245)	18,302	(17,372)	17,422	(▲ 872) ▲ 880	(▲ 4.8%) ▲ 4.8%
	リテールファイナンス	(478)	618	(484)	610	(+6) ▲ 8	(+1.2%) ▲ 1.3%
	産業機械他	(958)	968	(1,060)	1,069	(+102) +102	(+10.7%) +10.5%
	消去	▲ 207		▲ 185		+21	-
セグメント利益		15.4%	3,039	14.7%	2,777	▲ 0.7%ポイント ▲ 262	▲ 8.6%
	建設機械・車両	15.2%	2,780	13.9%	2,420	▲ 1.3%ポイント ▲ 360	▲ 13.0%
	リテールファイナンス	24.0%	148	27.7%	169	+3.7%ポイント +21	+13.9%
	産業機械他	8.1%	78	15.5%	166	+7.4%ポイント +88	+112.1%
	消去または全社	33		22		▲ 11	-

各セグメントの状況：

% ： 利益率 （ ）： 外部顧客向け売上高

■ 建設機械・車両

売上・利益は、販売価格改善を進めたものの、主要通貨で為替が円高になったことに加え、物量減とコスト増の影響により減収減益。

■ リテールファイナンス

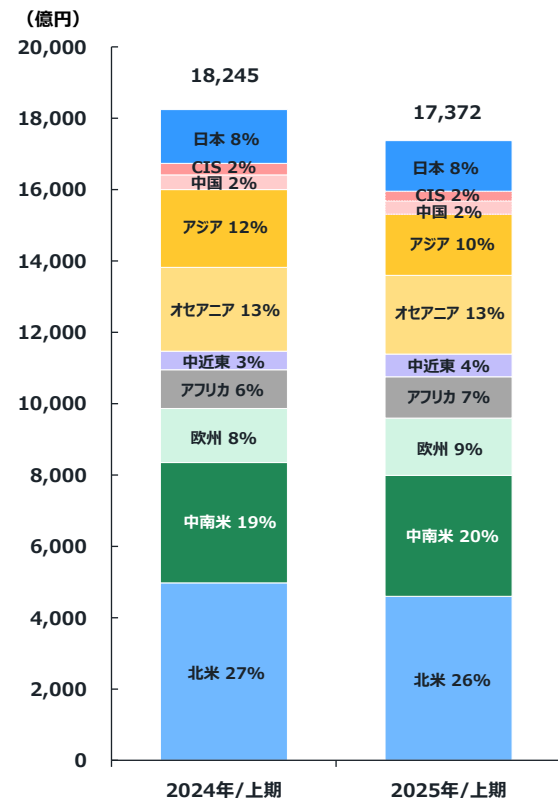
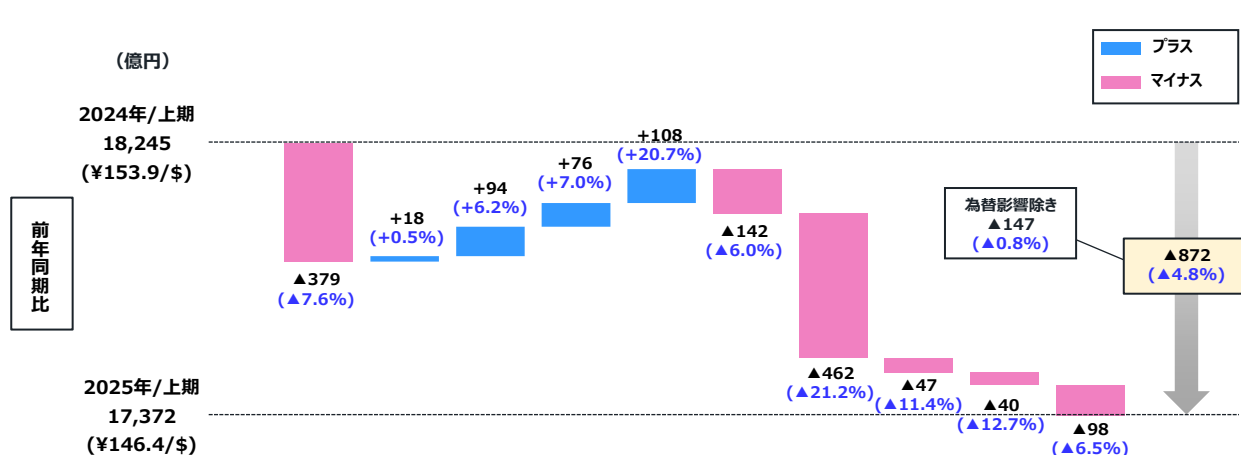
売上は、主に為替の影響により減収。利益は、主に資金調達コストの低下により増益。

■ 産業機械他

売上・利益は、自動車産業向けでは主に大型プレスの販売が増加、半導体産業向けでは利益率の高いエキシマレーザのメンテナンス売上が増加したことにより増収増益。

<建設機械・車両> 2025年度 上期（4-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

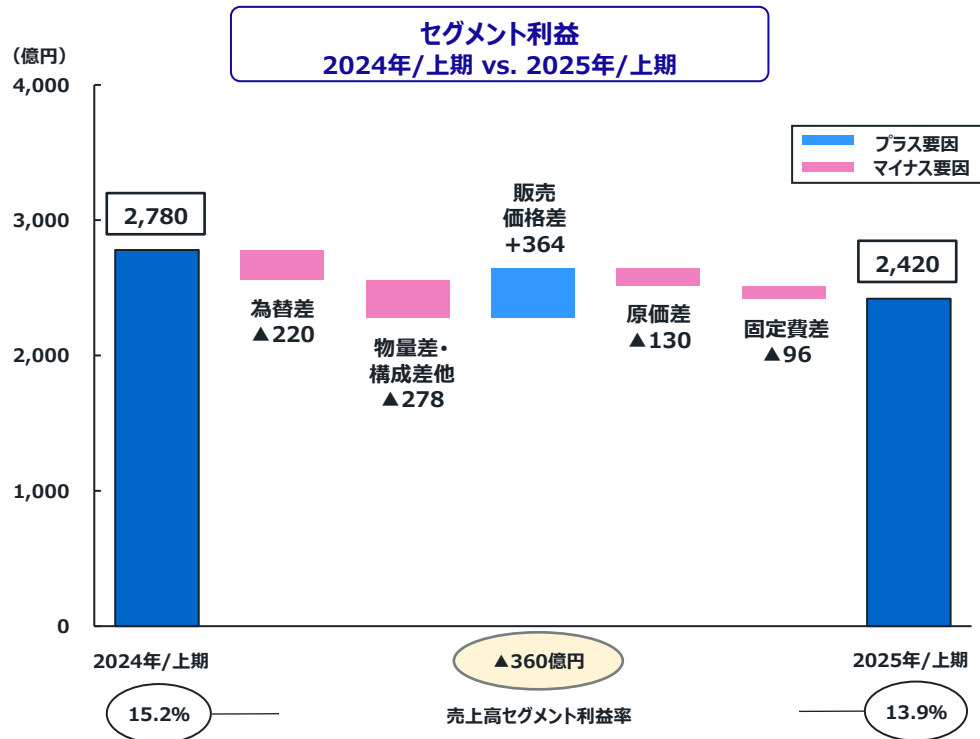
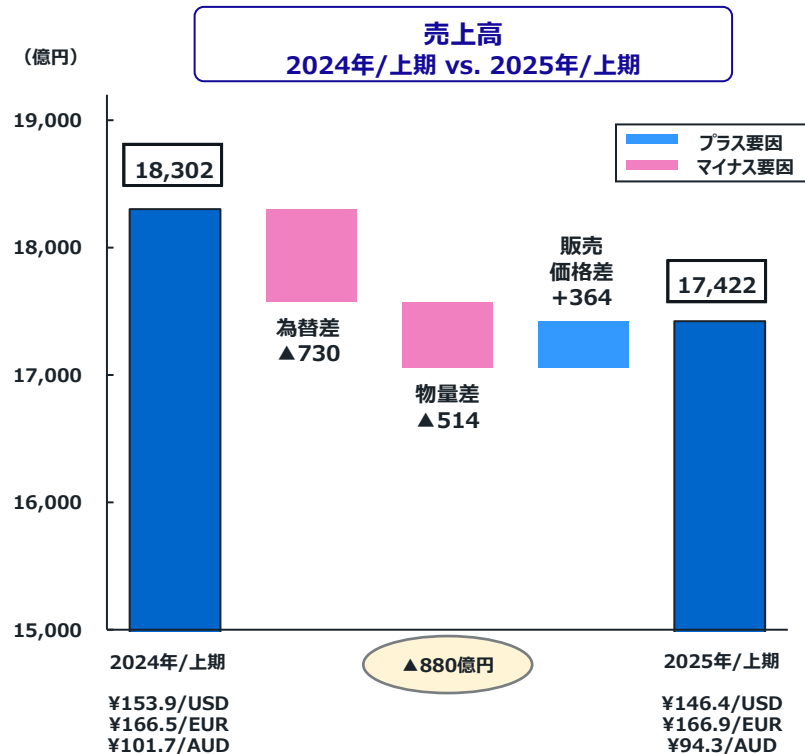
- ・外部顧客向け売上高は、前年同期比▲4.8%減収の1兆7,372億円。
- ・欧州、アフリカ、中近東などで増収となったが、アジア、北米、日本などで減収となり、為替を除く実質ベースでは前年同期比▲0.8%減収。



（億円）	米州		欧州 アフリカ 中近東			オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年/上期	4,974	3,377	1,509	1,085	523	2,353	2,177	418	315	1,514	18,245
2025年/上期	4,595	3,396	1,603	1,161	631	2,210	1,715	370	275	1,416	17,372
増減	▲ 379	+18	+94	+76	+108	▲ 142	▲ 462	▲ 47	▲ 40	▲ 98	▲ 872
増減 （為替影響除き）	▲ 148	+184	+99	+106	+133	+16	▲ 387	▲ 29	▲ 23	▲ 98	▲ 147

<建設機械・車両> 2025年度 上期（4-9月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、販売価格改善のプラス影響を、為替と物量減のマイナス影響が上回り、前年同期比▲880億円の減収。
- ・セグメント利益は、販売価格改善のプラス影響があったものの、為替、物量減とコスト増のマイナス影響が上回り、前年同期比▲360億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年同期比▲1.3ポイント低下し13.9%。

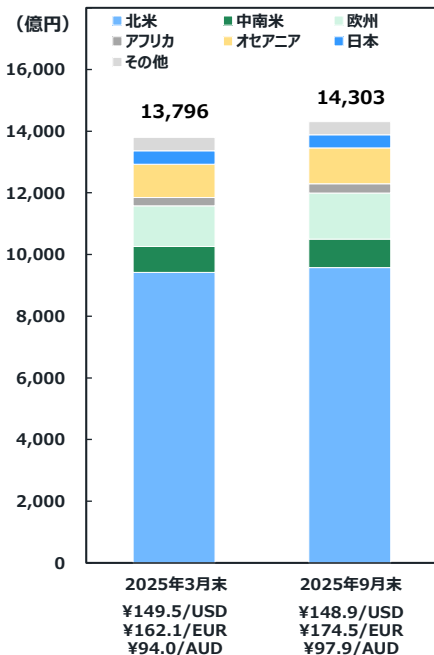


<リテールファイナンス> 2025年度 上期（4-9月）の状況

- ・ 資産は、新規取組が回収を上回り、前年度末比+508億円の増加。
- ・ 新規取組高は、主に為替の影響により、前年同期比▲314億円の減少。
- ・ 売上高は、主に為替の影響により、前年同期比▲8億円の減収。セグメント利益は、主に資金調達コストの低下により、前年同期比+21億円の増益。

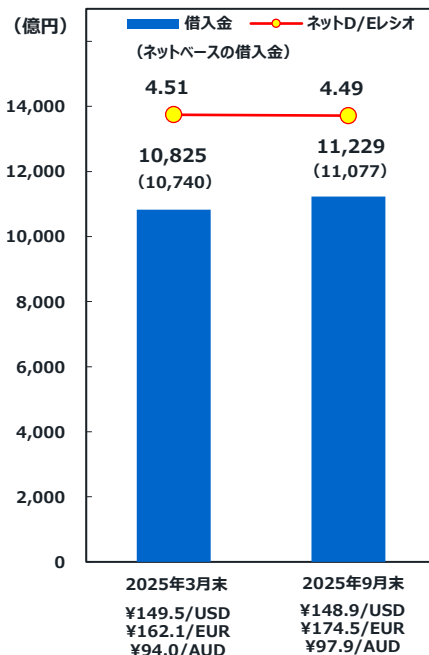
資産

2025年3月末 vs. 2025年9月末



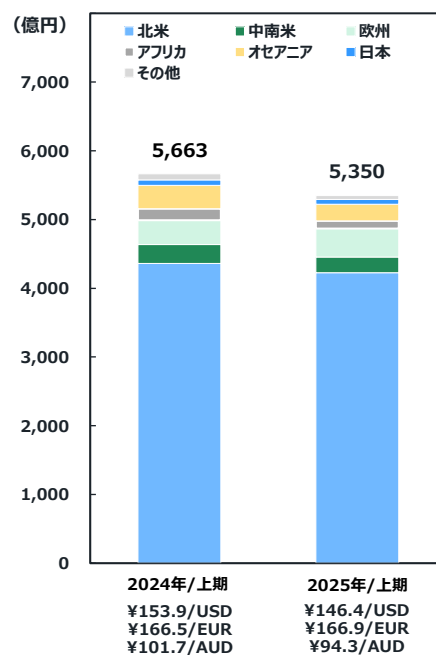
借入金

2025年3月末 vs. 2025年9月末



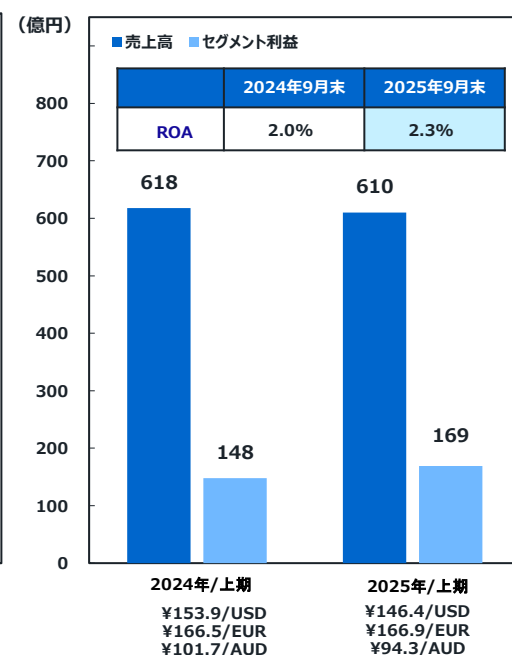
新規取組高

2024年/上期 vs. 2025年/上期



収益

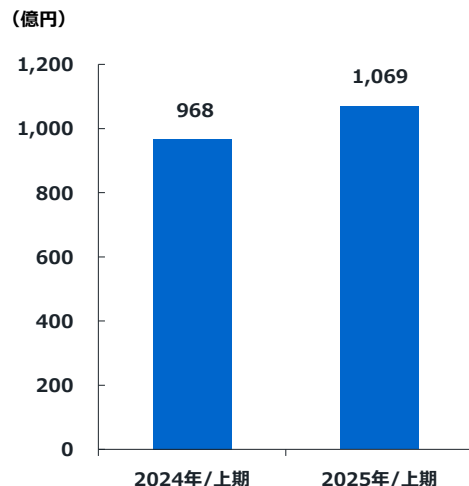
2024年/上期 vs. 2025年/上期



<産業機械他> 2025年度 上期（4-9月）の状況

- ・売上高は、前年同期比+10.5%増収の1,069億円。セグメント利益は、前年同期比約2.1倍の166億円。
- ・自動車産業向けは、主に大型プレスの販売が増加。半導体産業向けは、利益率の高いメンテナンス売上が増加し、増収増益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年同期比+7.4ポイント増加し15.5%。

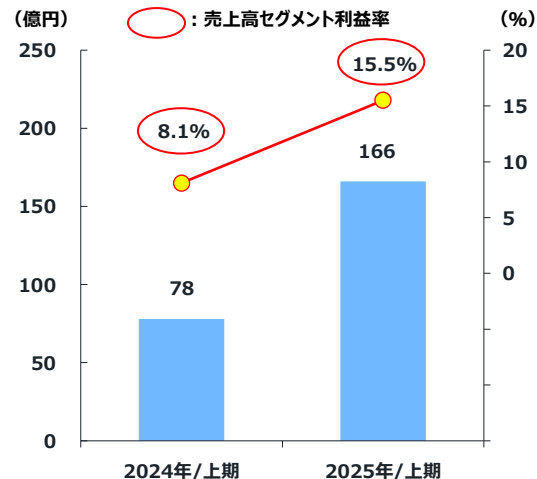
売上高
2024年/上期 vs. 2025年/上期



売上高の内訳

(億円)	2024年/上期	2025年/上期	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	240	335	+95	+39.5%
コマツNTC	216	244	+28	+13.0%
ギガフォトン	275	322	+47	+17.1%
その他	237	169	▲68	▲28.7%
合 計	968	1,069	+102	+10.5%

セグメント利益
2024年/上期 vs. 2025年/上期



連結貸借対照表とフリー・キャッシュ・フロー（FCF）

- ・総資産は、主に棚卸資産の増加により前年度末比+1,490億円増加の5兆9,225億円。棚卸資産は、前年度末比+1,727億円増加の1兆5,794億円。
- ・株主資本比率は、前年度末比▲0.7ポイント低下し54.3%。
- ・FCFの2025年度上期実績は、335億円の収入。

連結貸借対照表

金額単位：億円 ○：ネットD/エレシオ	2025年3月末 ¥149.5/USD ¥162.1/EUR ¥94.0/AUD	2025年9月末 ¥148.9/USD ¥174.5/EUR ¥97.9/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金）[a]	3,856	3,452	▲ 404
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	20,825	20,661	▲ 165
棚卸資産	14,067	15,794	+1,727
有形固定資産	9,143	9,256	+113
その他資産	9,845	10,063	+218
資産合計	57,735	59,225	+1,490
支払手形・買掛金	3,349	3,032	▲ 317
借入金・社債 [b]	11,506	12,760	+1,254
その他負債	9,431	9,562	+130
負債合計	24,287	25,354	+1,067
（株主資本比率）	（55.0%）	（54.3%）	（▲0.7ポイント）
株主資本	31,734	32,174	+440
非支配持分	1,715	1,697	▲ 17
負債及び純資産合計	57,735	59,225	+1,490
ネットD/エレシオの借入金・社債 [b-a]	0.24 7,650	0.29 9,308	+1,658
ネットD/エレシオ （リテールファイナンス会社を除いた場合）	▲0.11	▲0.06	

FCF

金額単位：億円	2024年度 /通期	2025年度 /上期	2025年度 /通期 （見通し）
営業CF	+5,172	+1,277	+4,100
運転資本	▲ 1,216	▲ 1,439	▲ 1,000
その他	+6,388	+2,715	+5,100
投資CF	▲ 2,107	▲ 942	▲ 1,700
FCF	+3,065	+335	+2,400

Ⅱ．2025年度の業績見通し

2025年度の業績見通し

- ・売上高は、前年比▲5.3%減収の3兆8,880億円（4月公表から+1,430億円上方修正）。
- ・営業利益は、前年比▲23.9%減益の5,000億円。売上高営業利益率は、▲3.1ポイント低下し12.9%（4月公表から+220億円上方修正）。
- ・純利益は、前年比▲27.2%減益の3,200億円（4月公表から+110億円上方修正）。

（※1）下期為替の前提：1ドル:140円、1ユーロ:163円、1豪ドル:91円

金額単位：億円	2024年度 (A) ¥152.8/USD ¥163.5/EUR ¥99.5/AUD	2025年度 (最新見通し) (B) ¥143.2/USD ¥164.9/EUR ¥92.7/AUD	2025年度 (4月見通し) (C) ¥135.0/USD ¥150.0/EUR ¥84.0/AUD	業績見通し 修正額 (B) - (C)	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減	増減率
売上高	41,044	38,880	37,450	+1,430	▲ 2,164	▲5.3%
セグメント利益	6,635	5,050	4,830	-	▲ 1,585	▲23.9%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 64	▲ 50	▲ 50	-	+14	-
営業利益	6,571	5,000	4,780	+220	▲ 1,571	▲23.9%
売上高営業利益率	16.0%	12.9%	12.8%	-	▲3.1ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 523	▲ 360	▲ 360	-	+163	-
税引前当期純利益	6,048	4,640	4,420	+220	▲ 1,408	▲23.3%
当社株主に帰属する当期純利益	4,396	3,200	3,090	+110	▲ 1,196	▲27.2%

ROE	14.2%	10.3%	(※2) 10.0%	+0.3ポイント	▲3.9ポイント
1株当たり配当金（円）	190円	190円	190円	±0円	±0円
連結配当性向	40.1%	54.0%	(※2) 56.7%		

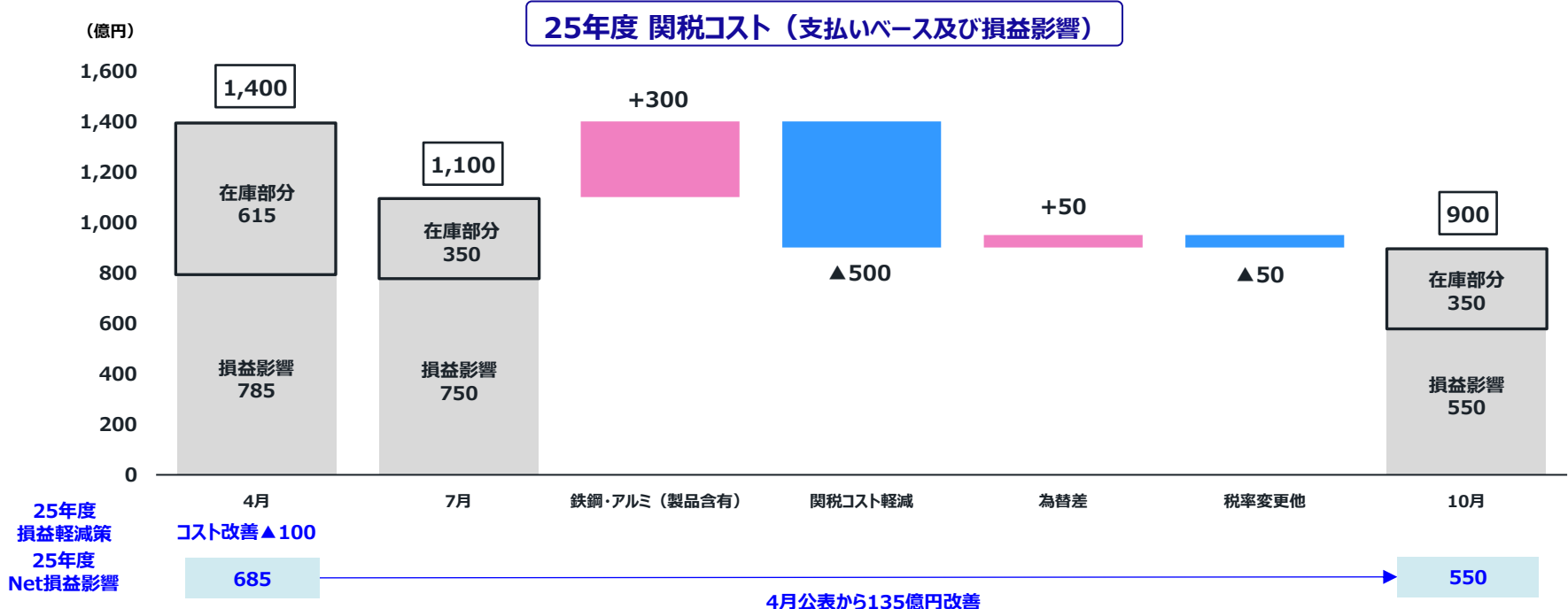
（※2）自己株式取得の影響を考慮していない

売上高・営業利益への為替感応度（1円変動/年）

	売上高	営業利益
USD	149億円	48億円
EUR	26億円	5億円
AUD	43億円	3億円

米国の追加関税影響額の見通し

- ・10月24日時点で内容が明らかになっている米国の関税政策と税率に基づき、25年度の関税コストの最新見通しは以下の通り。
（10月に米国政府関係者が表明した中国などへの追加関税政策の影響は織り込んでいない。）
- ・期中に実施したコスト軽減策を含む、関税支払いベースは900億円（4月公表から500億円の減少）。
- ・期中に実施したコスト軽減策を含む、損益影響額は550億円（4月公表から135億円の改善）。
- ・コスト軽減策を含む損益影響額の上期実績は77億円。年度末にかけて損益影響額が大きくなる見通し。



2025年度の各セグメント売上高と利益の見通し

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年比▲6.0%減収の3兆5,710億円。セグメント利益は、前年比▲26.4%減益の4,410億円。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年比▲5.0%減収の1,170億円。セグメント利益は、前年比+0.3%増益の295億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年比+6.0%増収の2,370億円。セグメント利益は、前年比+20.5%増益の330億円。

金額単位：億円		2024年度		2025年度 (最新見通し)		2025年度 (4月見通し)		前年比 (B) - (A)	
		(A)		(B)				増減	増減率
売上高		41,044		38,880		37,450		▲ 2,164	▲ 5.3%
	建設機械・車両	(37,875)	37,982	(35,596)	35,710	(34,300)	34,400	(▲ 2,279) ▲ 2,272	(▲ 6.0%) ▲ 6.0%
	リテールファイナンス	(962)	1,232	(936)	1,170	(845)	1,075	(▲ 27) ▲ 62	(▲ 2.8%) ▲ 5.0%
	産業機械他	(2,207)	2,236	(2,348)	2,370	(2,306)	2,315	(+141) +134	(+6.4%) +6.0%
消去		▲ 407		▲ 370		▲ 340		+37	-
セグメント利益		16.2%	6,635	13.0%	5,050	12.9%	4,830	▲ 3.2%ポイント ▲ 1,585	▲ 23.9%
	建設機械・車両	15.8%	5,989	12.3%	4,410	12.4%	4,280	▲ 3.5%ポイント ▲ 1,579	▲ 26.4%
	リテールファイナンス	23.9%	294	25.2%	295	22.3%	240	+1.3%ポイント +1	+0.3%
	産業機械他	12.3%	274	13.9%	330	13.4%	310	+1.6%ポイント +56	+20.5%
消去または全社		78		15		0		▲ 63	-

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

売上は、販売価格改善のプラス影響があるものの、為替や物量減のマイナス影響により減収。
利益は、販売価格改善のプラス影響があるものの、為替や物量減、米国の関税コスト増のマイナス影響などにより減益。

■ リテールファイナンス

売上は、主に為替の影響により減収。利益は、主に資金調達コストの低下により増益。

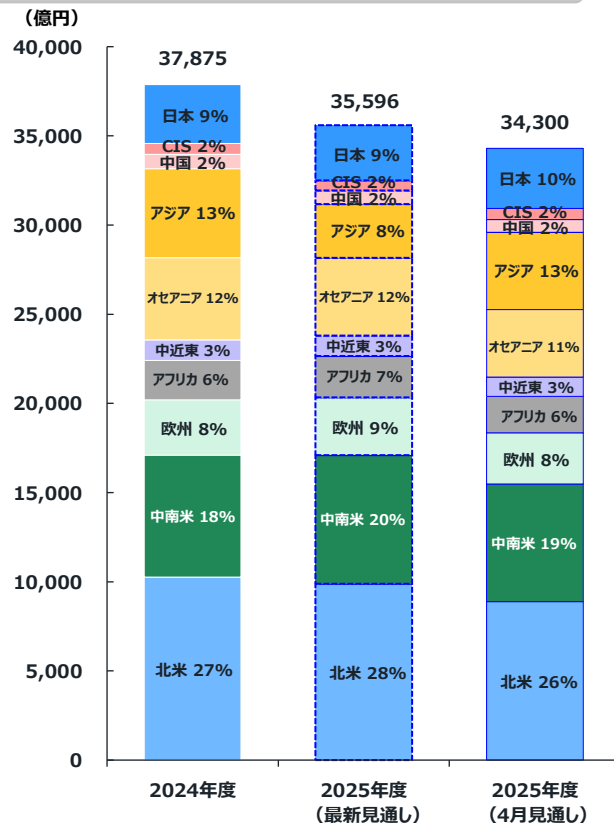
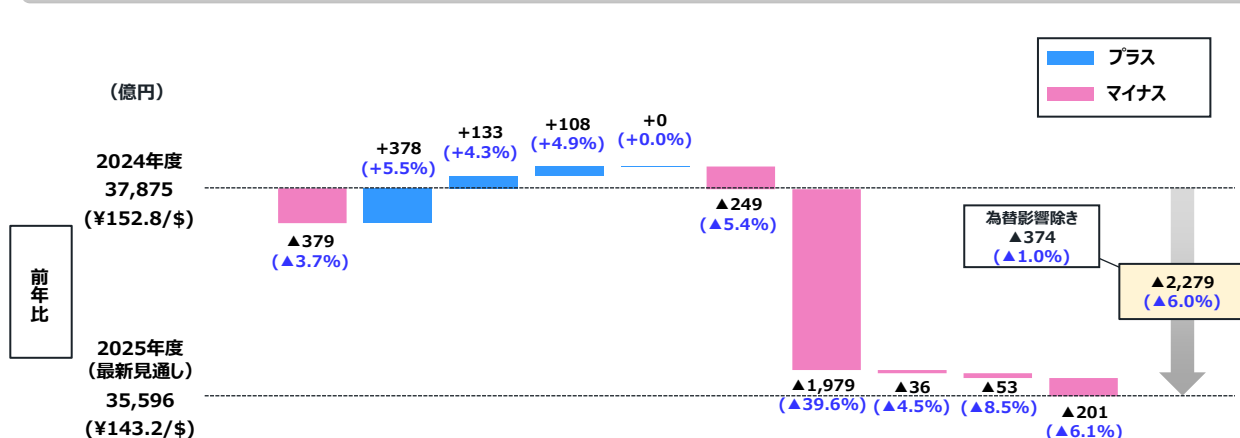
■ 産業機械他

売上・利益は、自動車産業向けでは主に大型プレスの販売が増加、半導体産業向けでは利益率の高いエキシマレーザのメンテナンス売上が増加したことにより増収増益。

% : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

<建設機械・車両> 2025年度の地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

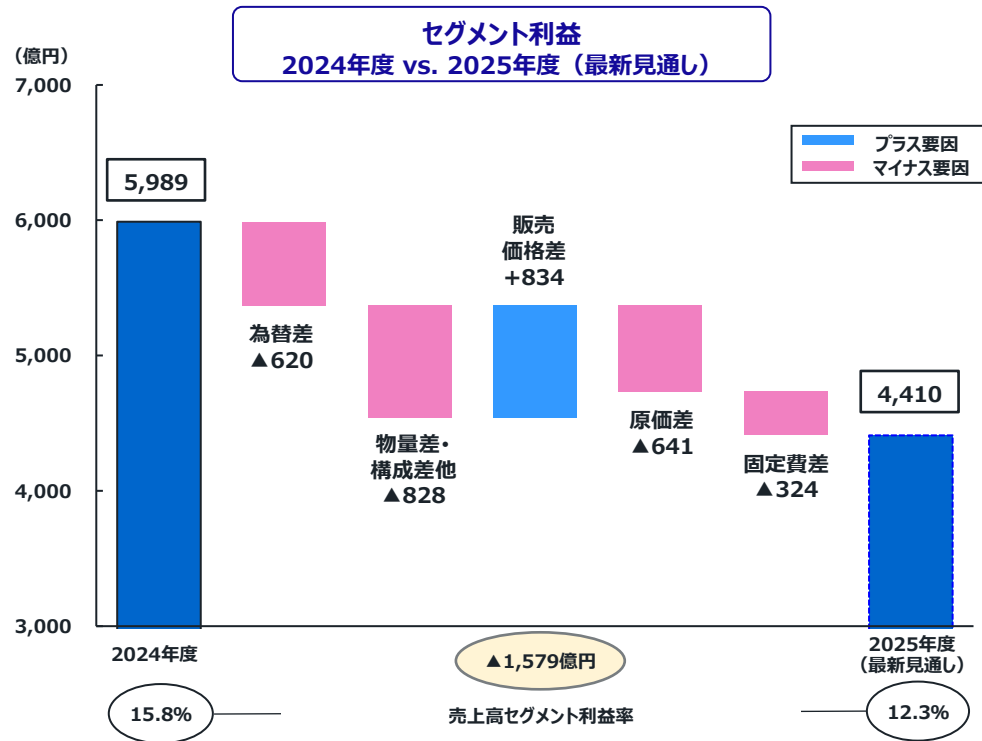
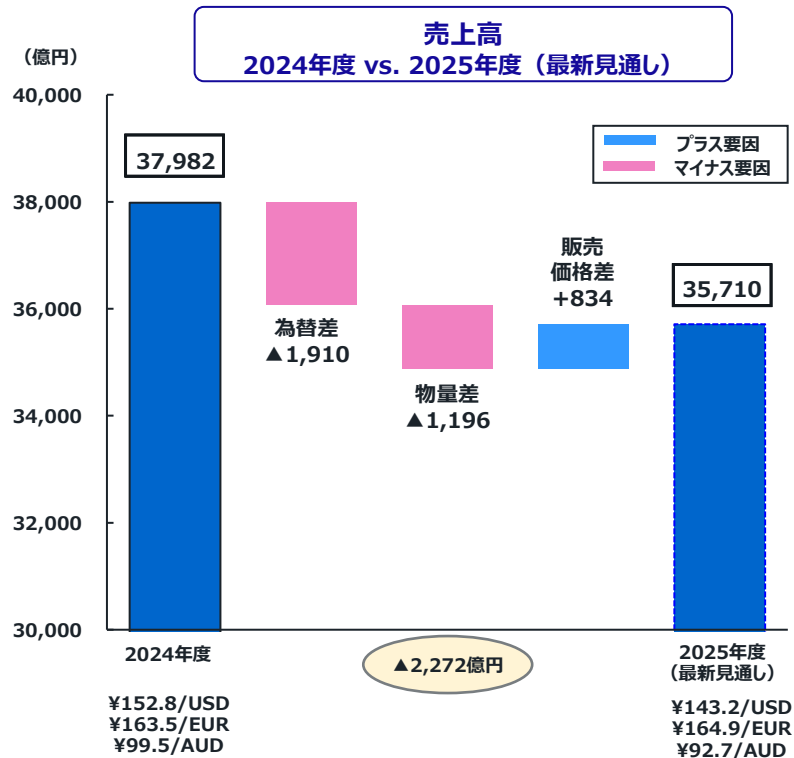
- ・外部顧客向け売上高は、前年比▲6.0%減収の3兆5,596億円。為替影響を除くと、前年比▲1.0%の減収。
- ・アジアでは、インドネシアの石炭価格が低迷、当面回復しないと見ており、鉱山機械・一般建機ともに大幅な減収となる見通し。



(億円)	米州		欧州 アフリカ 中近東			オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年度	10,264	6,836	3,104	2,211	1,146	4,608	4,992	802	615	3,296	37,875
2025年度 (最新見通し)	9,884	7,214	3,237	2,319	1,147	4,359	3,013	765	563	3,095	35,596
増減	▲ 379	+378	+133	+108	+0	▲ 249	▲ 1,979	▲ 36	▲ 53	▲ 201	▲ 2,279
増減 (為替影響除き)	+325	+873	+111	+188	+70	+72	▲ 1,782	+18	▲ 47	▲ 201	▲ 374

<建設機械・車両> 2025年度の売上高とセグメント利益の増減要因の見通し

- ・売上高は、販売価格改善のプラス影響があるものの、為替や物量減のマイナス影響により、前年比▲2,272億円減収の見通し。
- ・セグメント利益は、販売価格改善のプラス影響があるものの、為替や物量減、米国の関税影響等のコスト増のマイナス影響により、前年比▲1,579億円減益の見通し。
- ・売上高セグメント利益率は、前年比▲3.5ポイント低下し12.3%の見通し。

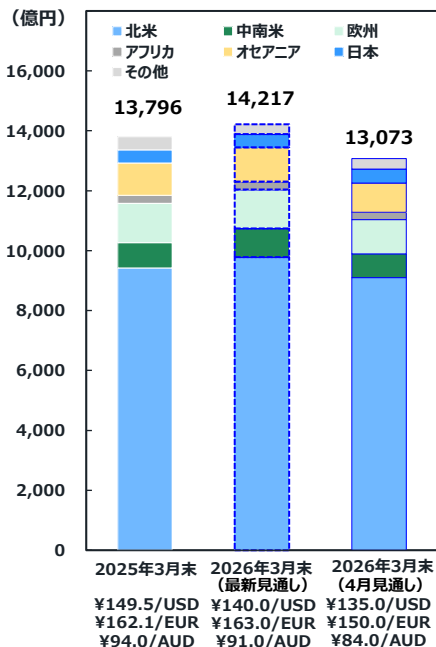


<リテールファイナンス> 2025年度の見通し

- ・資産は、新規取組が回収を上回り、前年度末比+422億円増加の見通し。
- ・新規取組高は、主に為替の影響により、前年比▲457億円減少の見通し。
- ・売上高は、主に為替の影響により、前年比▲62億円の減収。セグメント利益は、主に資金調達コストの低下により、前年比+1億円増益の見通し。

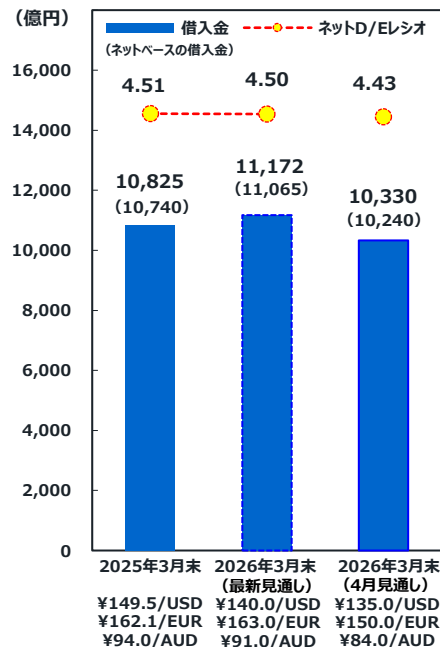
資産

2025年3月末 vs. 2026年3月末
(最新見通し)



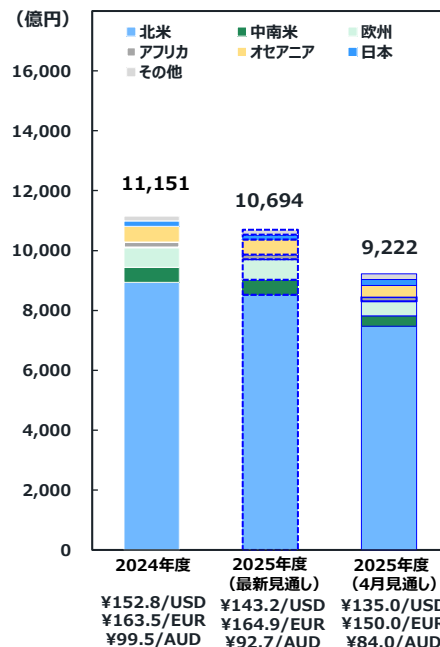
借入金

2025年3月末 vs. 2026年3月末
(最新見通し)



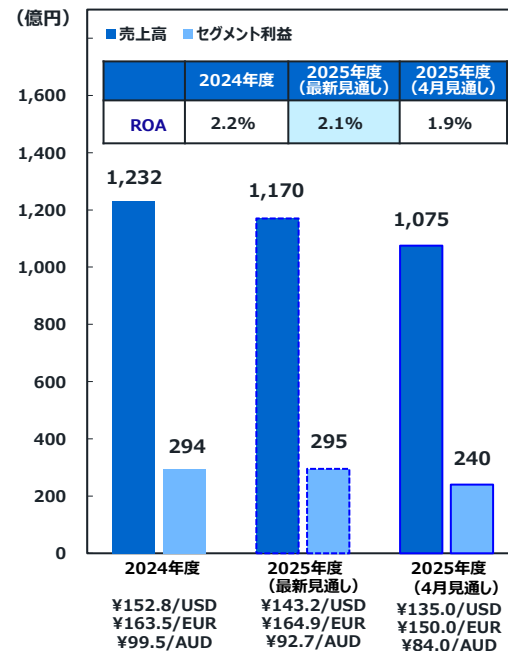
新規取組高

2024年度 vs. 2025年度
(最新見通し)



収益

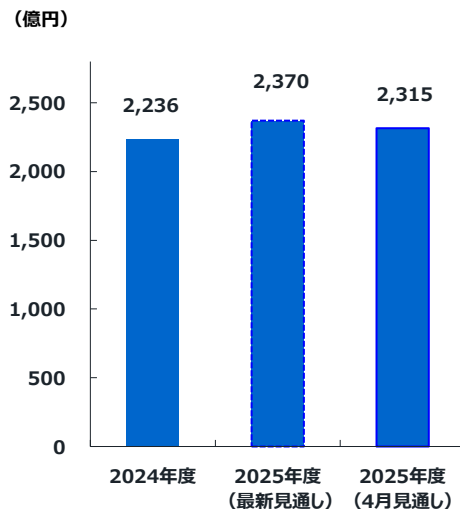
2024年度 vs. 2025年度
(最新見通し)



<産業機械他> 2025年度の売上高とセグメント利益の見通し

- ・売上高は、前年比+6.0%増収の2,370億円。セグメント利益は、前年比+20.5%増益の330億円。
- ・自動車産業向けは、主に大型プレスの販売が増加。半導体産業向けは、利益率の高いメンテナンス売上が増加し、増収増益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年比+1.6ポイント増加し、13.9%となる見通しです。

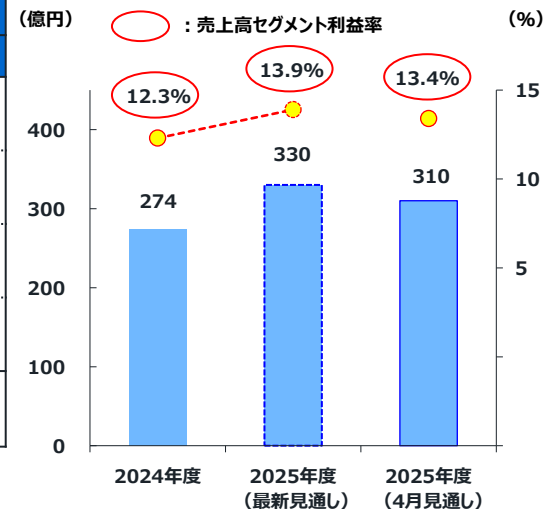
売上高
2024年度 vs. 2025年度
(最新見通し)



売上高の内訳

(億円)	2024年度 (A)	2025年度 (最新見通し) (B)	2025年度 (4月見通し)	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
コマツ産機	574	672	663	+97	+17.0%
コマツNTC	479	488	464	+10	+2.0%
ギガフォトン	598	689	681	+90	+15.1%
その他	585	521	508	▲63	▲10.8%
合 計	2,236	2,370	2,315	+134	+6.0%

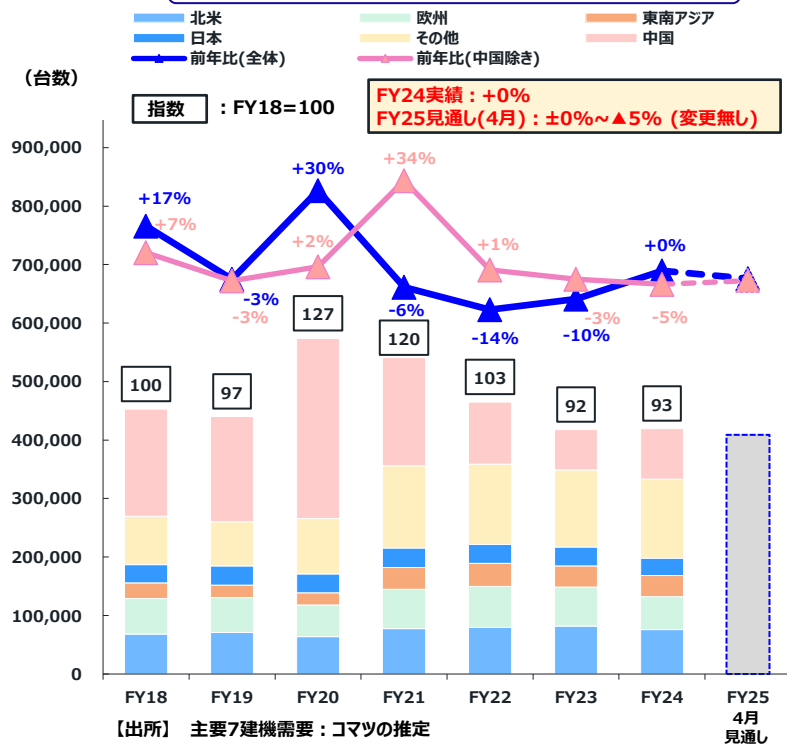
セグメント利益
2024年度 vs. 2025年度
(最新見通し)



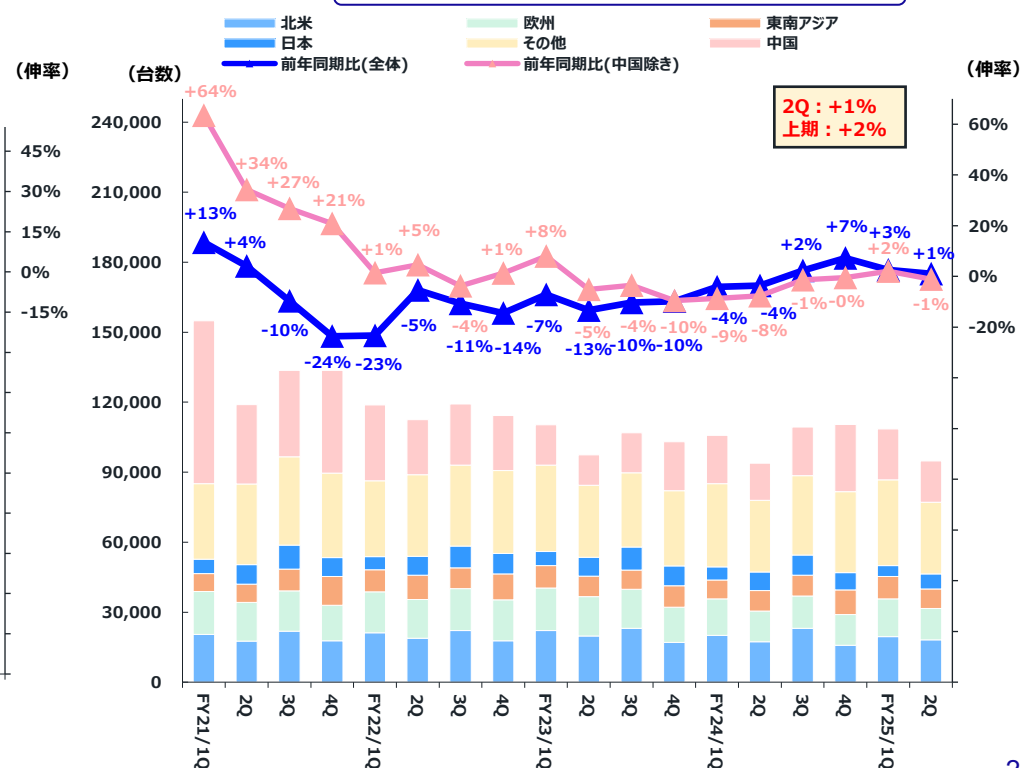
<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2025年度第2四半期の需要は、前年同期比+1%の増加。
- ・2025年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

主要7建機 年度別需要推移



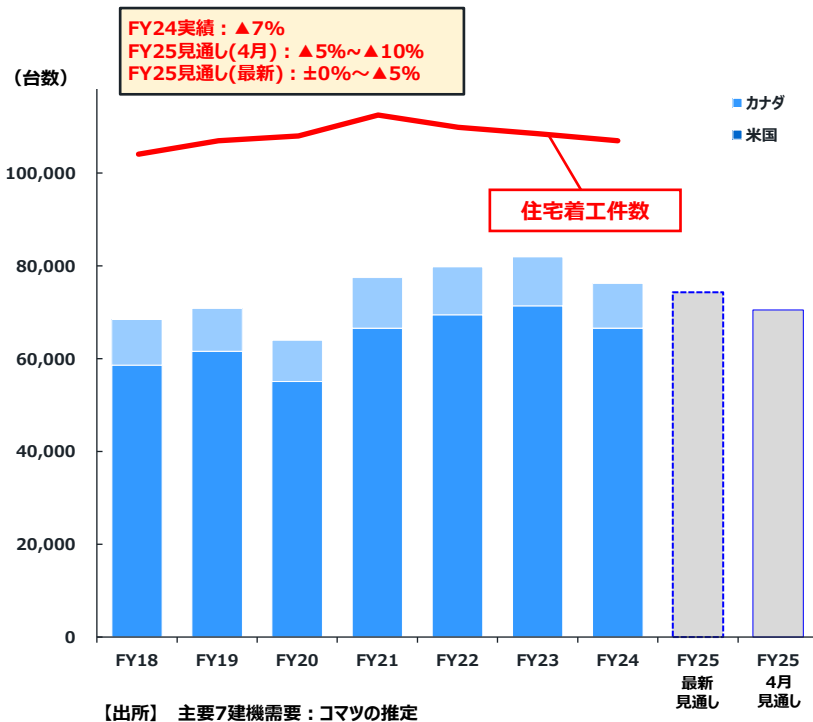
主要7建機 四半期別需要推移



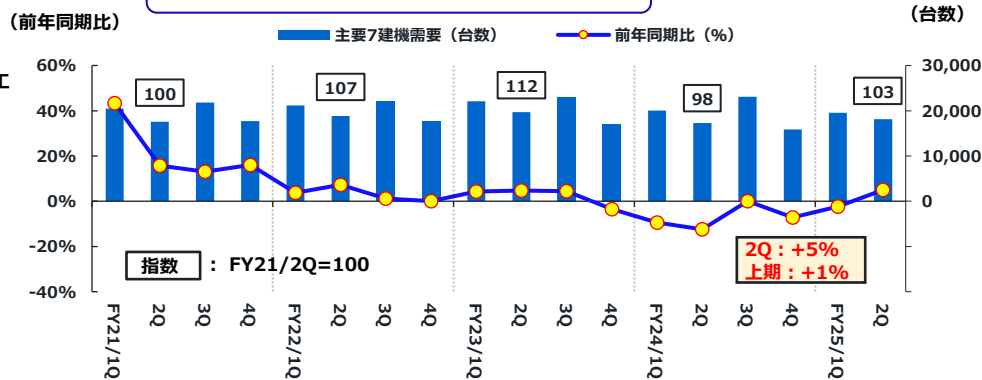
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：①北米

- ・2025年度第2四半期の需要は、前年同期比+5%の増加。関税政策が需要に与える影響は明確に見られず、レンタル向け需要は反転の兆し。
- ・2025年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（4月見通しより変更）。下期以降、関税コストアップが浸透し需要に与える影響を注視。

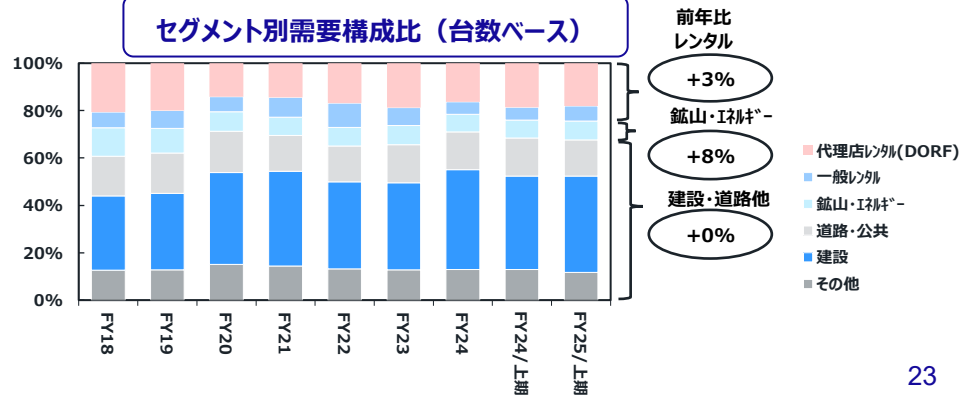
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



主要7建機 四半期需要推移



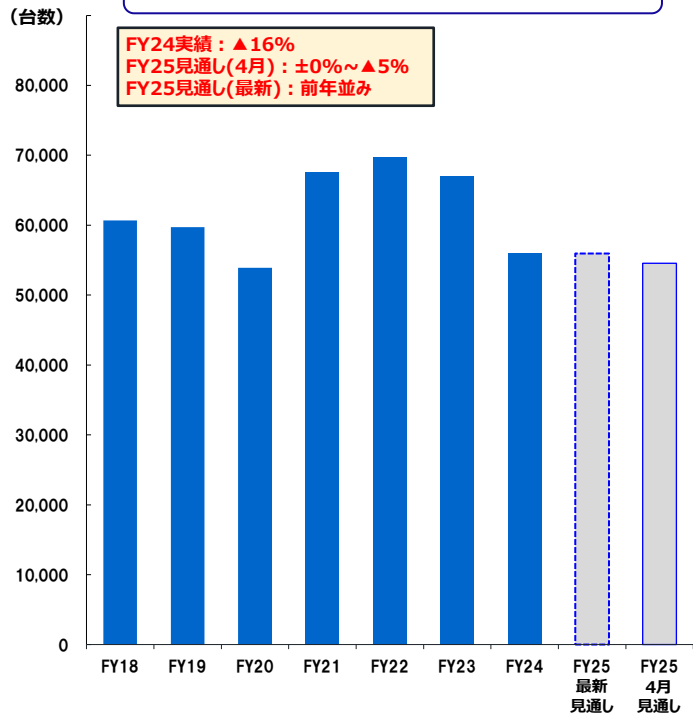
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②欧州

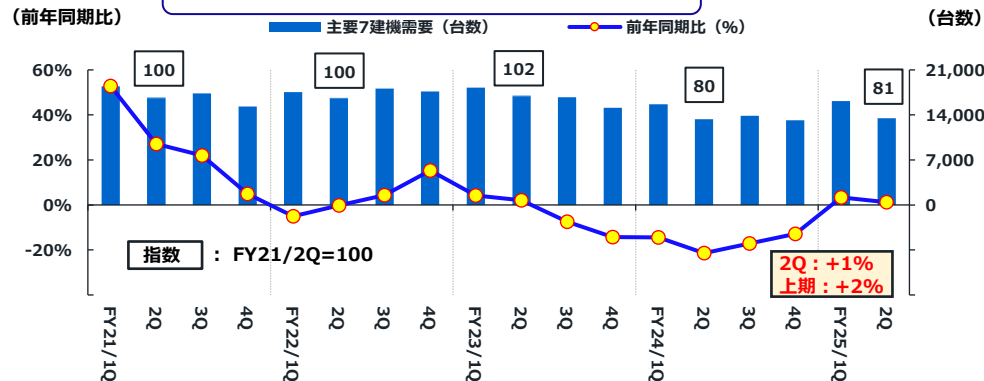
- ・2025年度第2四半期の需要は、前年同期比+1%の増加。利下げや財政拡大策などにより景況感が改善し、需要は概ね底打ち。
- ・2025年度の需要は、前年並みの見通し（4月見通しより変更）。

主要7建機 年度別需要推移

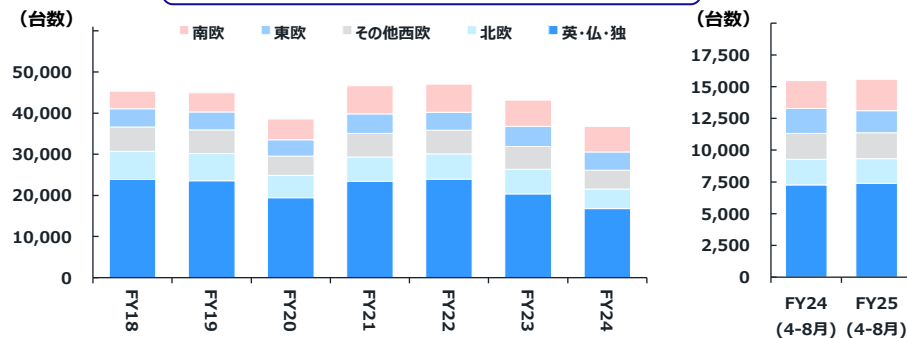


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



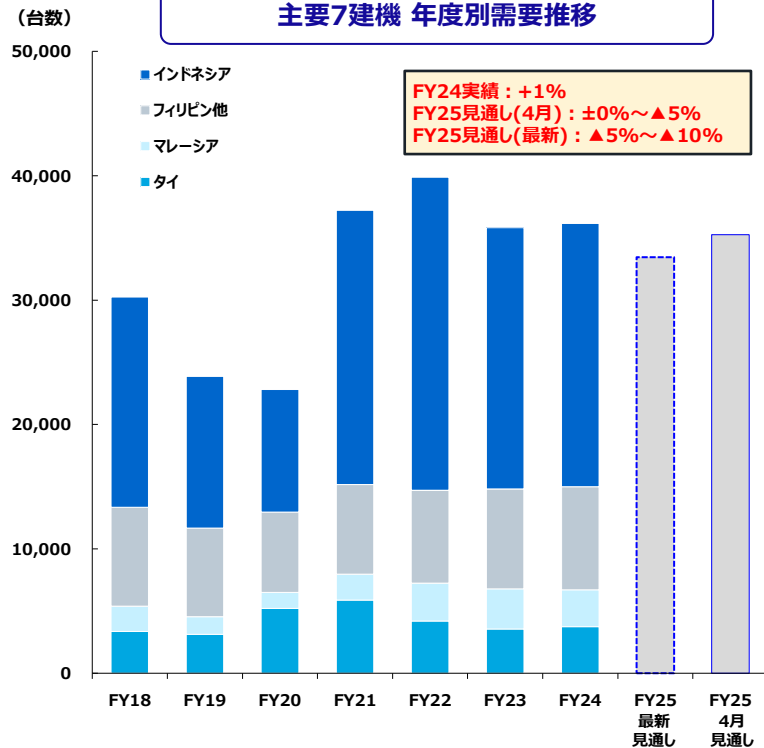
主要7建機（6tクラス除く）地域別需要



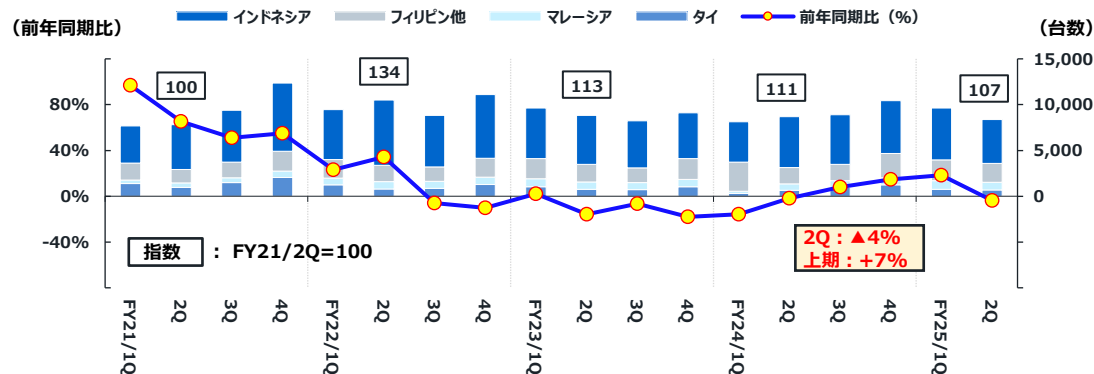
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：③東南アジア

- ・2025年度第2四半期の需要は、前年同期比▲4%の減少。インドネシアで鉱山機械・一般建機ともに需要が下落。
- ・2025年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し（4月見通しより変更）。インドネシアの需要は当面回復しない見通し。

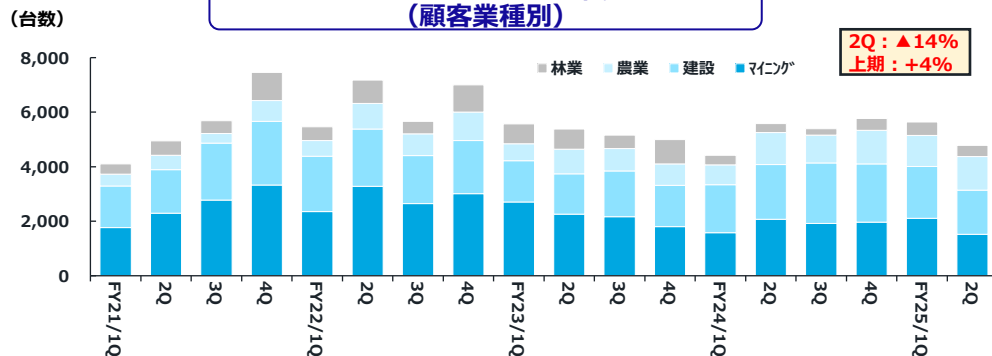
主要7建機 年度別需要推移



主要7建機 四半期需要推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移（顧客業種別）

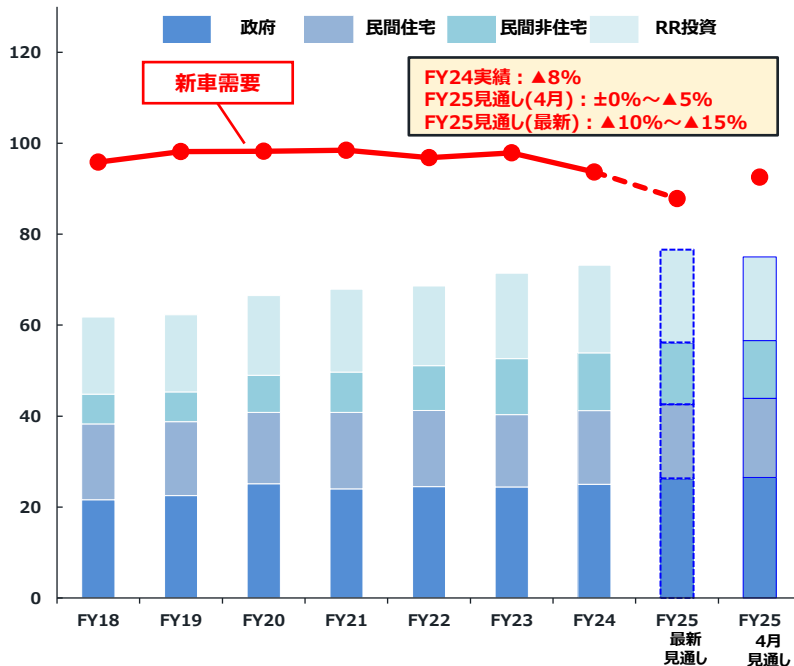


＜建設機械・車両＞主要市場の需要推移と見通し：④日本

- ・2025年度第2四半期の需要は、前年同期比▲19%の減少。一般向け、レンタル向けともに需要が引き続き低調。
- ・2025年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（4月見通しより変更）。需要は当面低調に推移。

新車需要（主要7建機）と建設投資

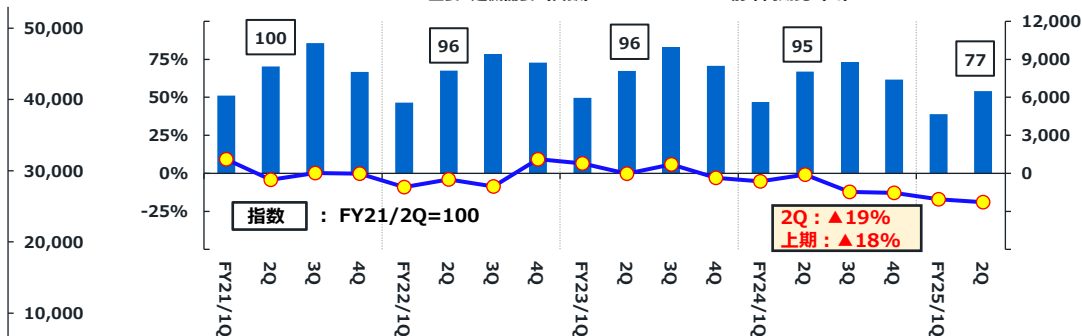
建設投資
(兆円)



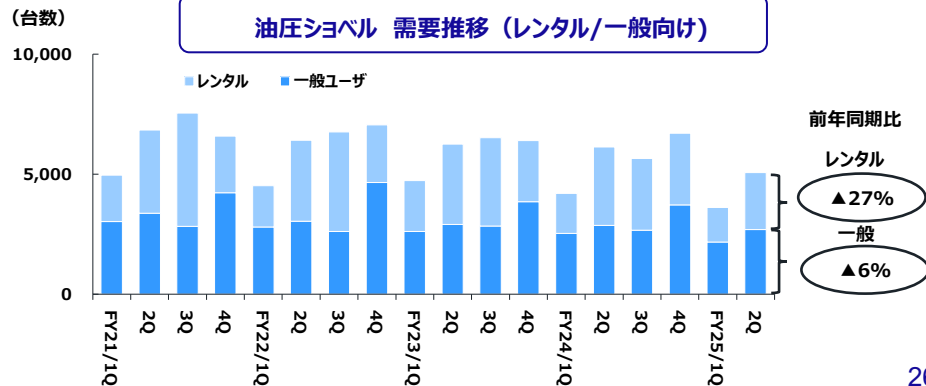
新車需要
(台数)

(前年同期比)

主要7建機 四半期別需要推移



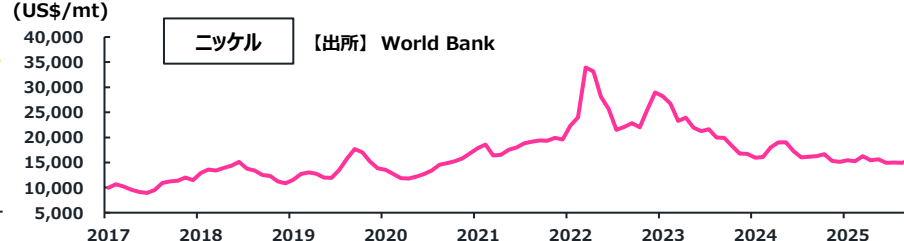
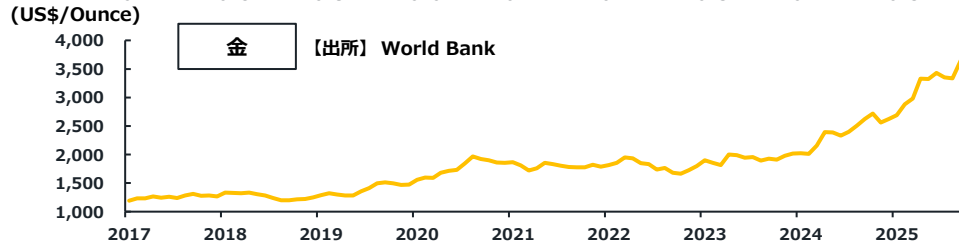
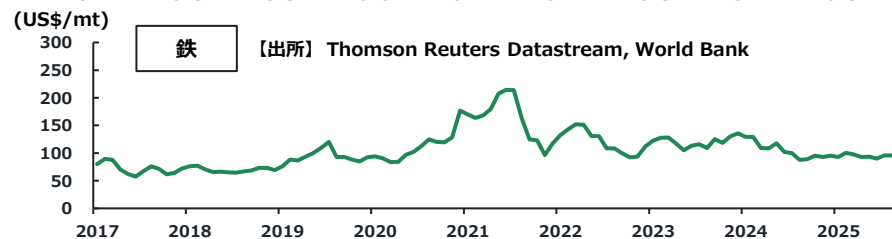
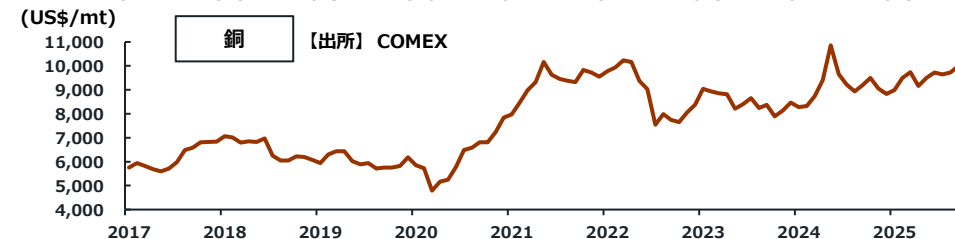
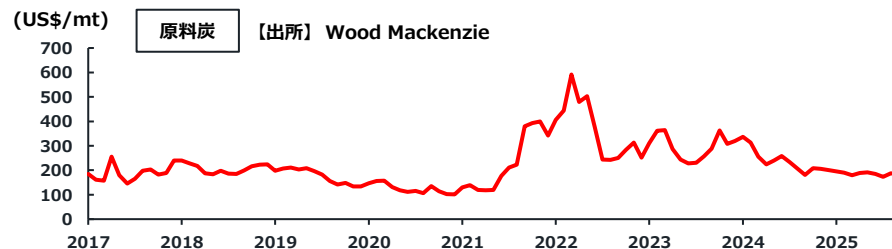
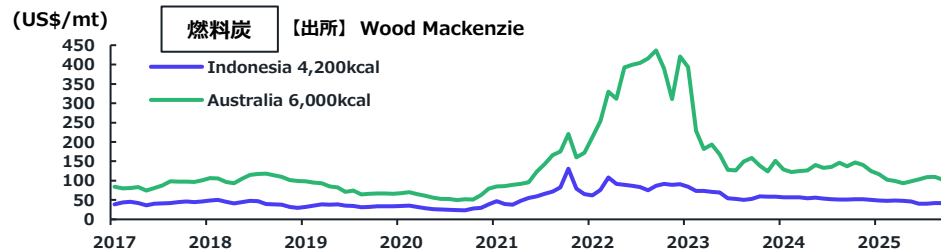
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



【出所】主要7建機需要：コマツの推定 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

<建設機械・車両> 主要鉱物の価格推移と見通し

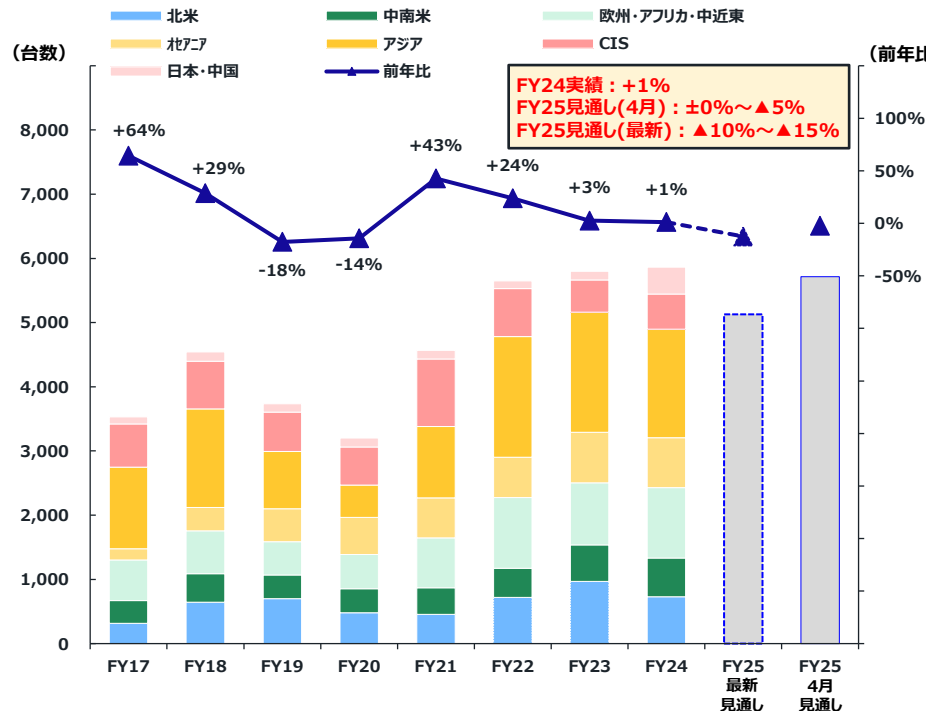
- ・燃料炭は、低品位炭は中国の国内炭供給増により下落基調、高品位炭は引き続き安定して推移する見込み。
- ・原料炭/鉄鉱石は、安定的な需要が見込まれ、価格も安定して推移。
- ・金/銅は、長期的に見ると高値の水準を維持。



＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2025年度第2四半期の需要は、前年同期比▲13%の減少。インドネシアの石炭価格の下落により需要が減少。
- ・2025年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し（4月見通しより変更）。インドネシアの需要は当面回復しないと見ているが、その他は堅調に推移。

鉦山機械 年度別需要推移

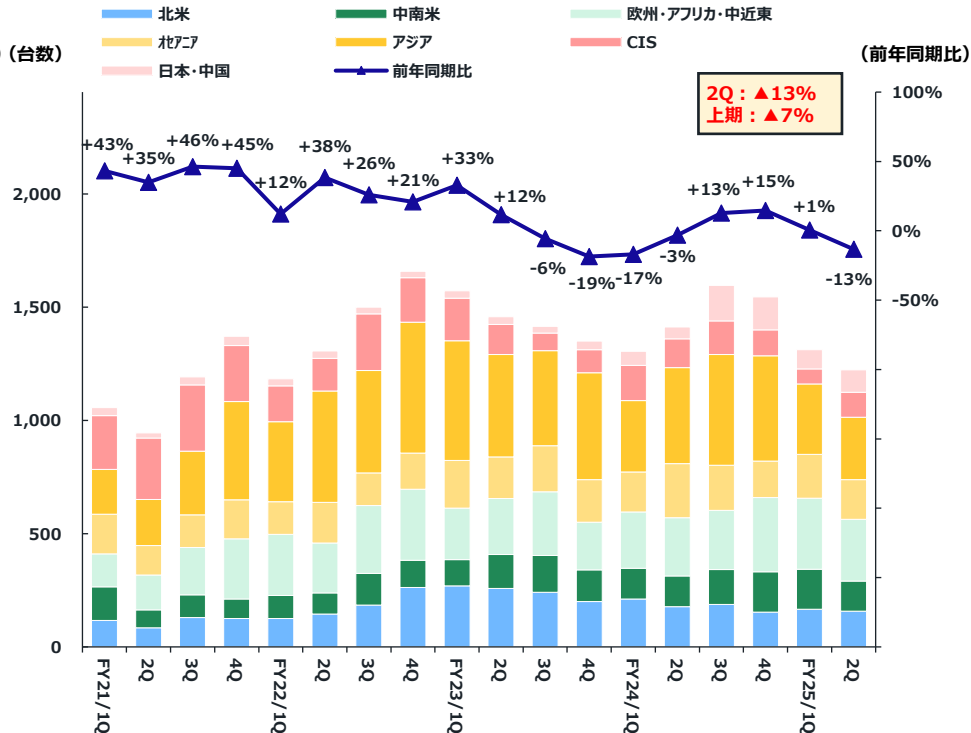


【出所】 コマツの推定

・タンクトラック：75 t (HD785) 以上
・エクスカベーター：200 t (PC2000) 以上
・モーターレーダー：280HP (GD825) 以上
・ブルドーザー：525HP (D375) 以上
・ホイールローダー：810HP (WA800) 以上

KOMATSU

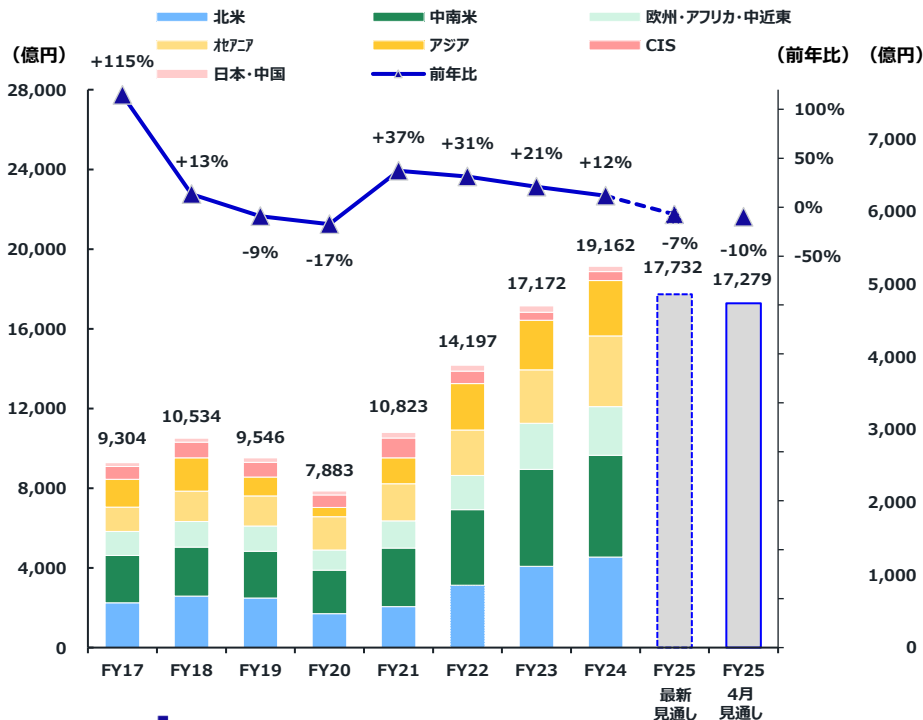
鉦山機械 四半期別需要推移



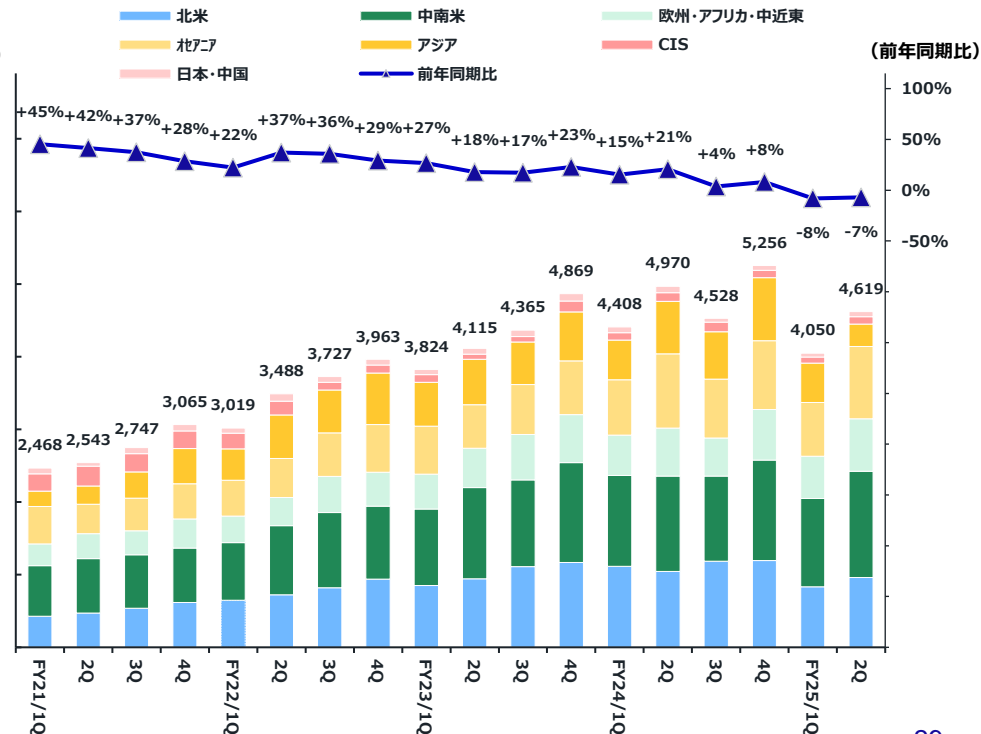
＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2025年度第2四半期の売上高は、前年同期比▲7.1%減収の4,619億円。
- ・2025年度の売上高は、前年比▲7.5%減収の1兆7,732億円の見通し（4月見通しより変更）。

鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）

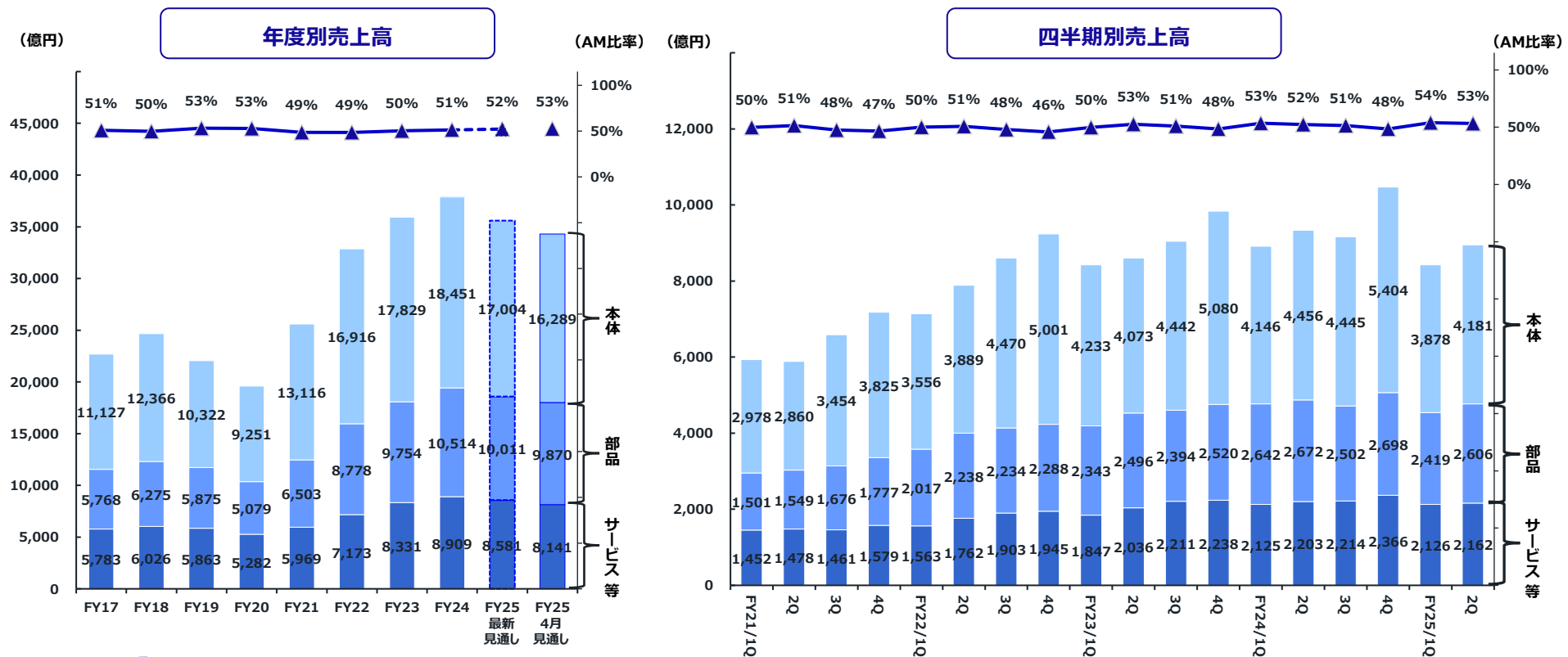


鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



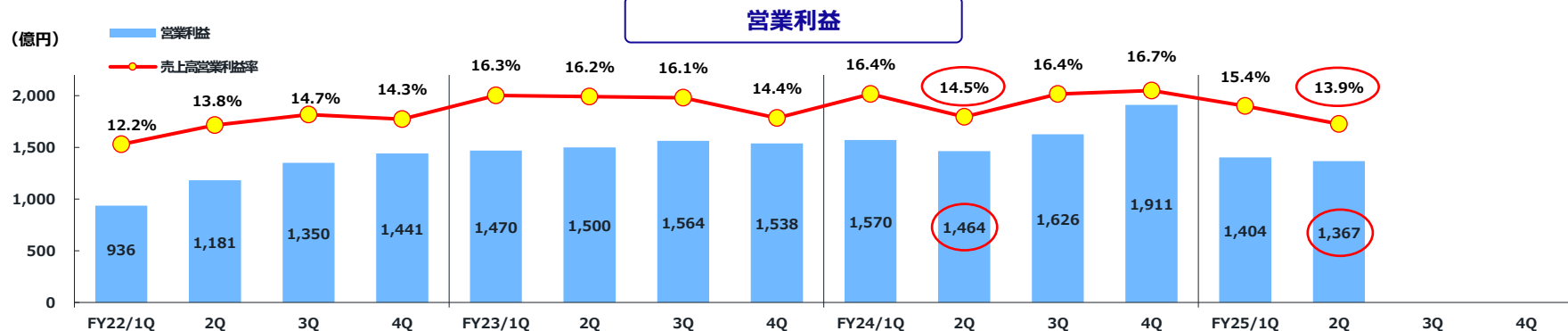
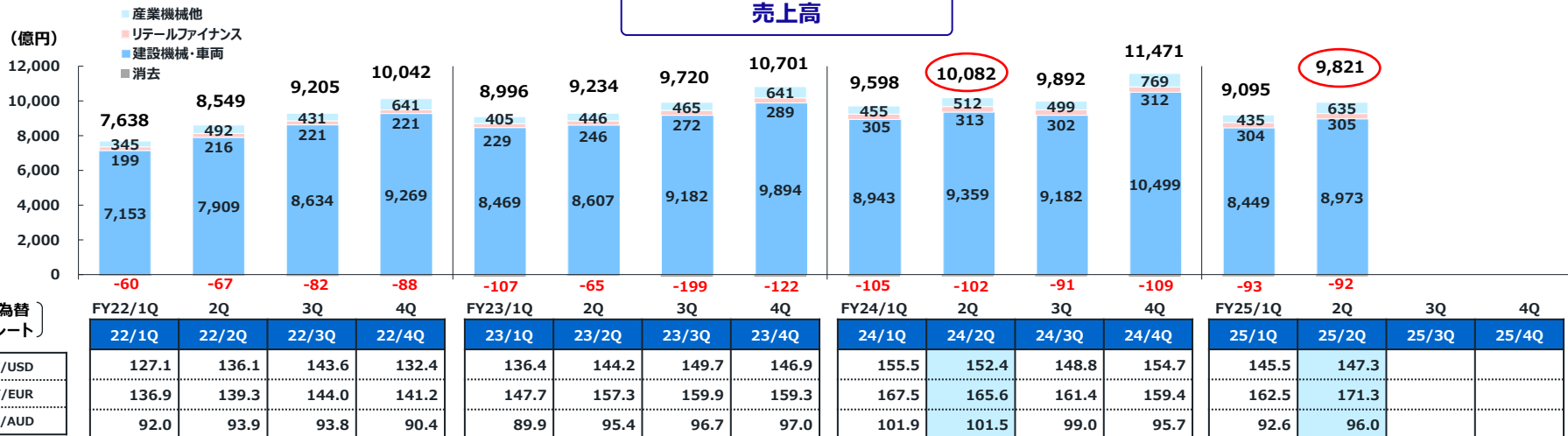
<建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2025年度第2四半期の部品売上高は、前年同期比▲2.5%減収の2,606億円。サービス等をあわせたアフターマーケット比率（AM比率）は53%。
- ・2025年度の部品売上高は、前年比▲4.8%減収の1兆11億円の見通し（4月見通しより変更）。サービス等をあわせたAM比率は52%の見通し。



参考資料

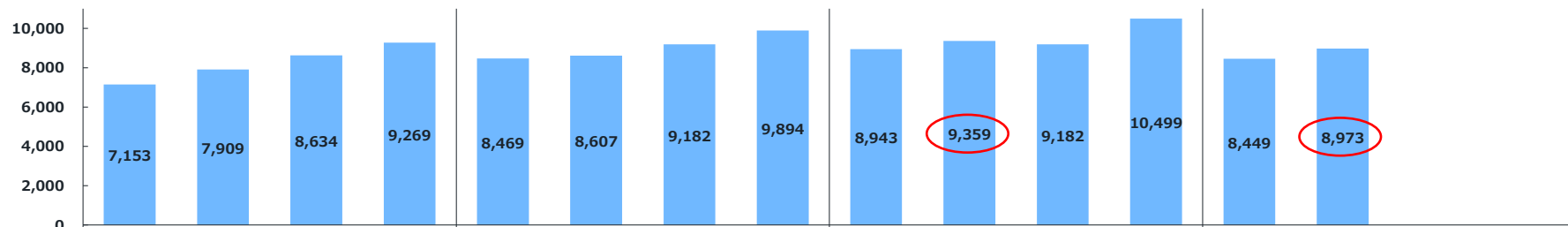
【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)

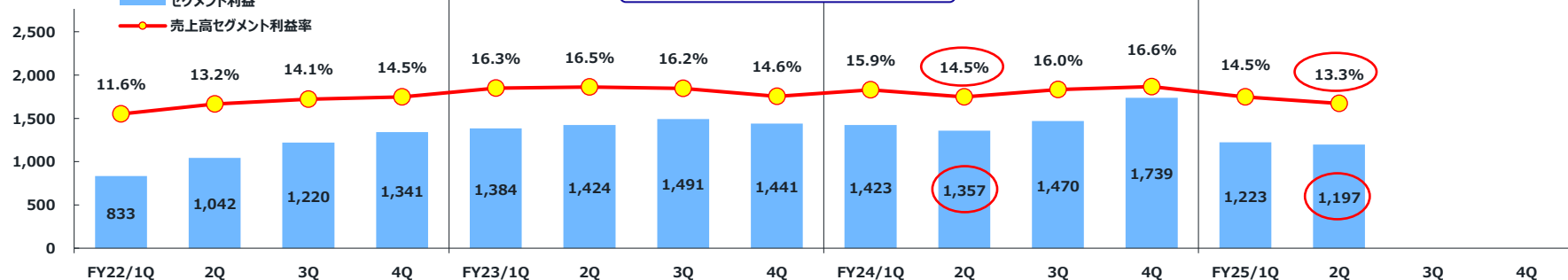


(為替
レート)

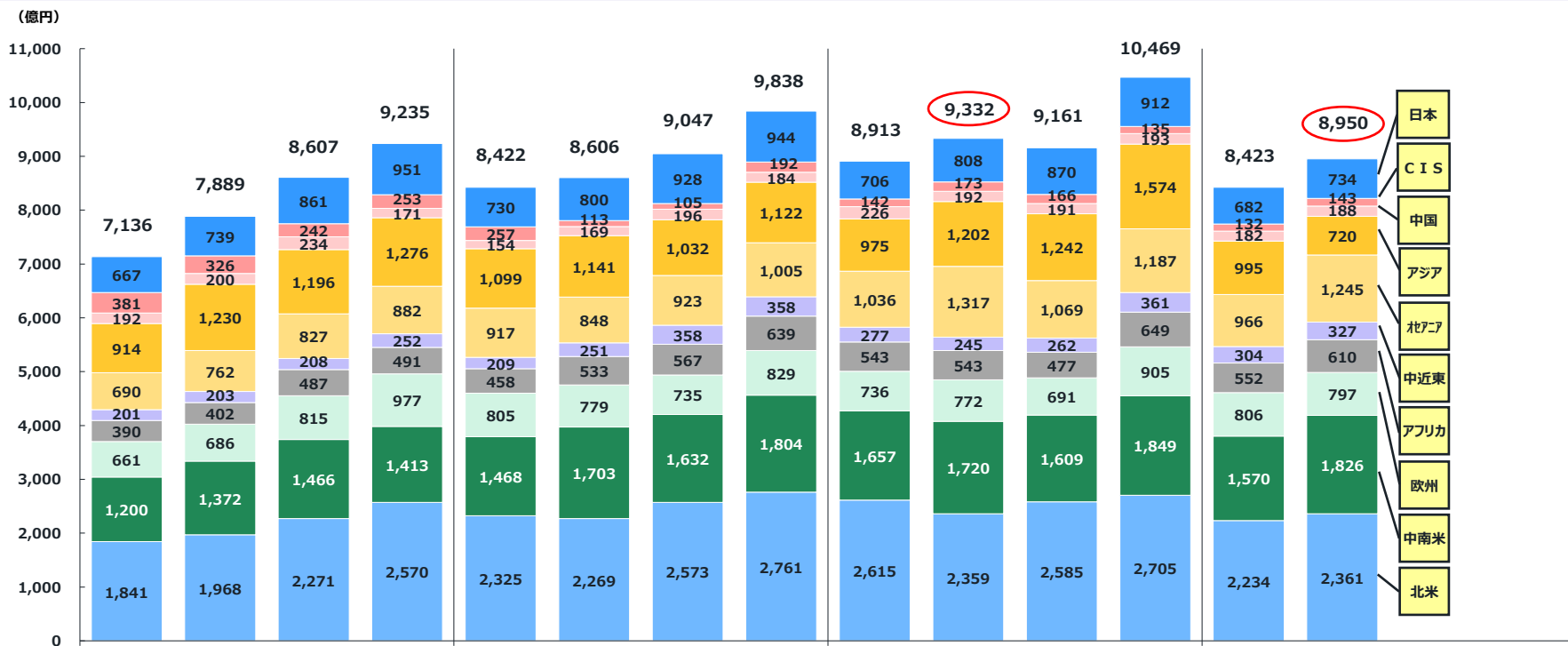
	FY22/1Q				FY23/1Q				FY24/1Q				FY25/1Q			
	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q
¥/USD	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	154.7	145.5	147.3		
¥/EUR	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	159.4	162.5	171.3		
¥/AUD	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	95.7	92.6	96.0		

セグメント利益

(億円)



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

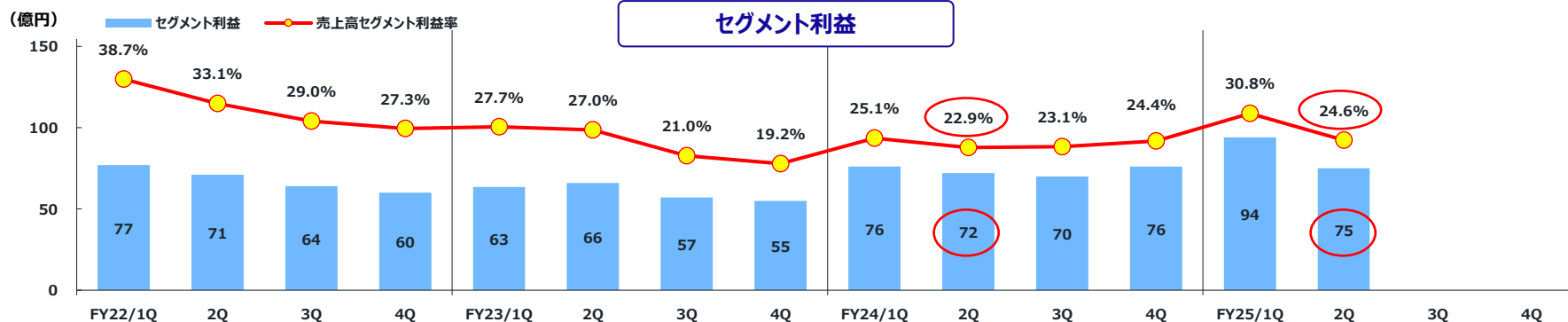
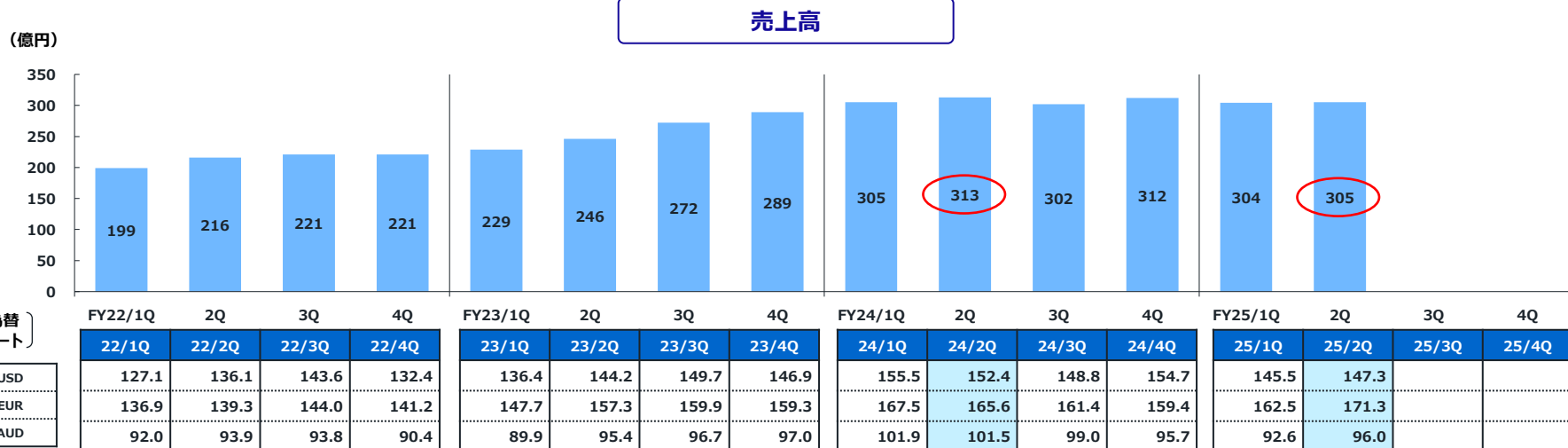


〔為替
レート〕

¥/USD
¥/EUR
¥/AUD

	FY22/1Q				FY23/1Q				FY24/1Q				FY25/1Q			
	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q
¥/USD	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	154.7	145.5	147.3		
¥/EUR	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	159.4	162.5	171.3		
¥/AUD	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	95.7	92.6	96.0		

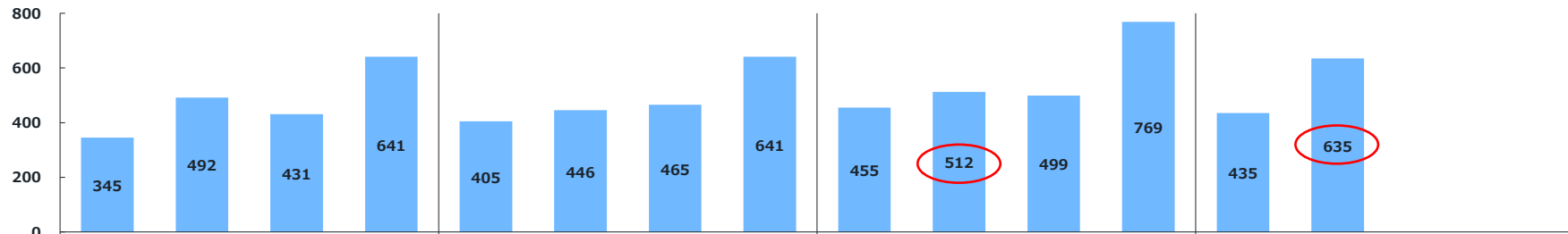
【参考資料】＜リテールファイナンス＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)

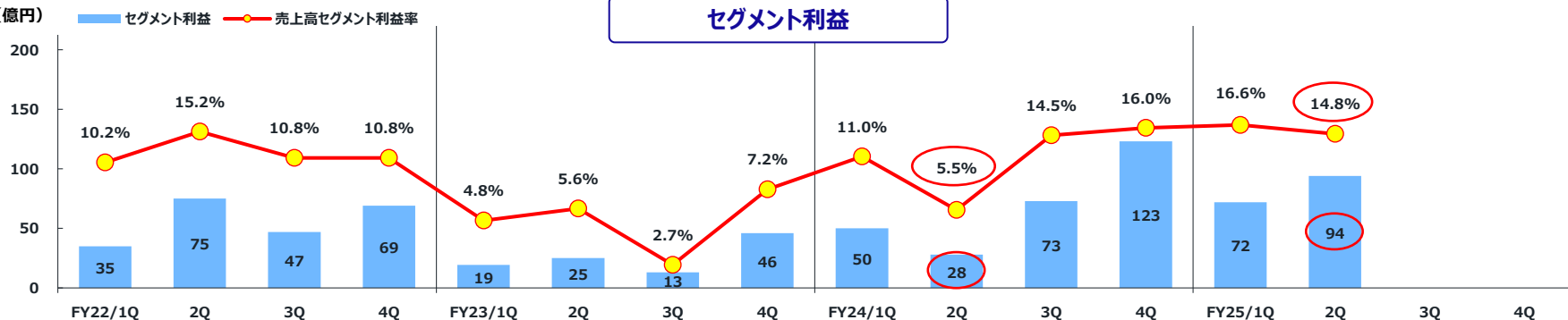


(為替
レート)

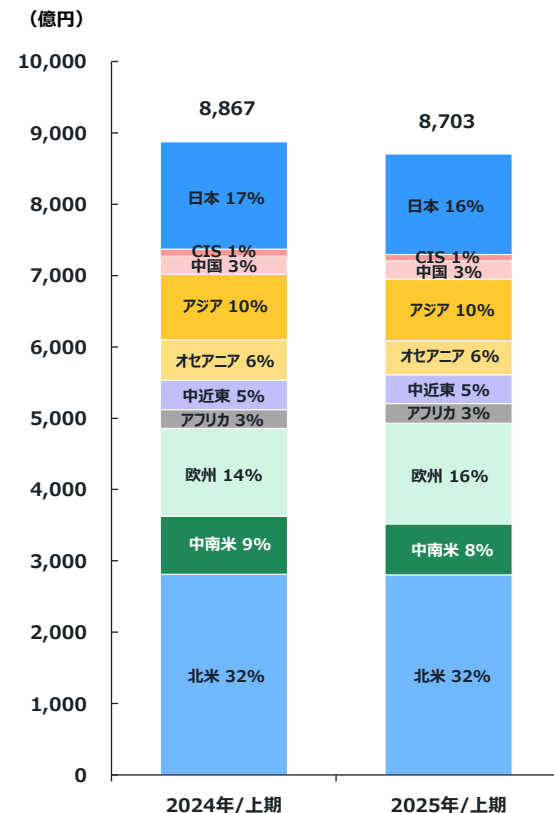
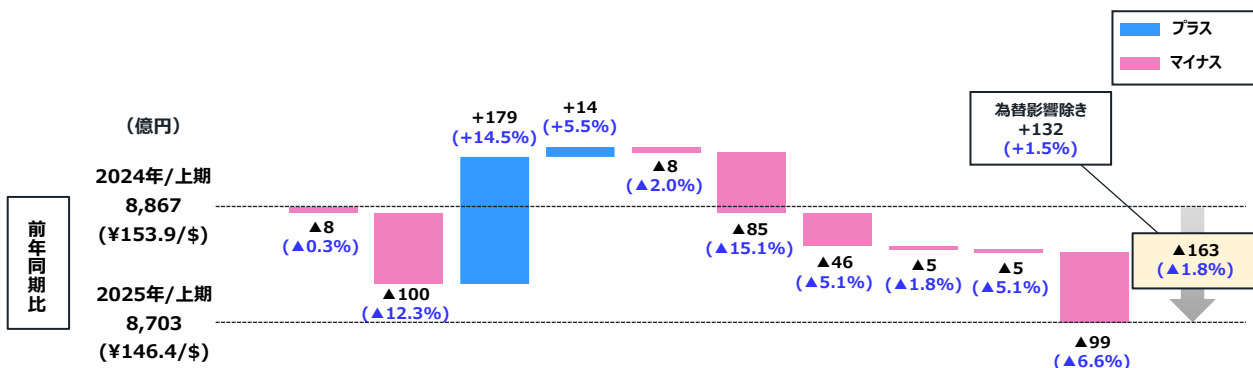
¥/USD	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	154.7	145.5	147.3		
¥/EUR	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	159.4	162.5	171.3		
¥/AUD	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	95.7	92.6	96.0		

(億円)

セグメント利益

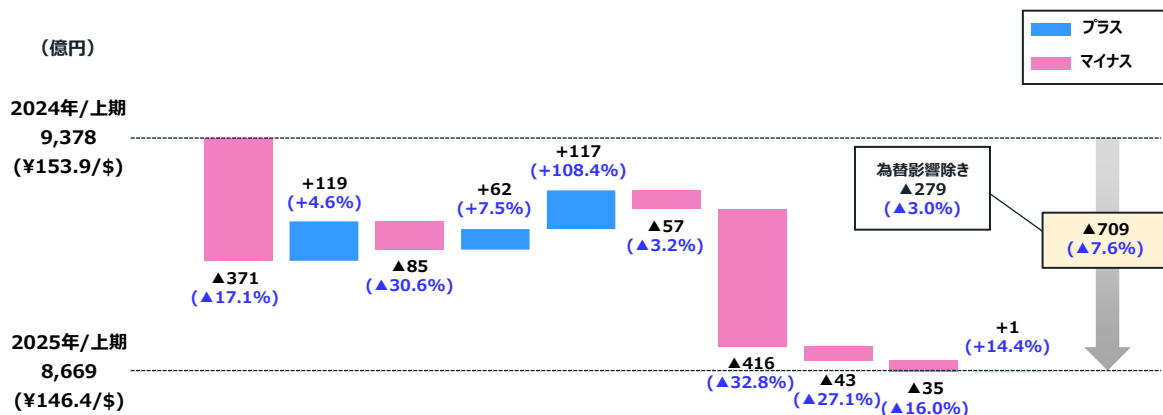


【参考資料】（一般建機）2025年度 上期（4-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）

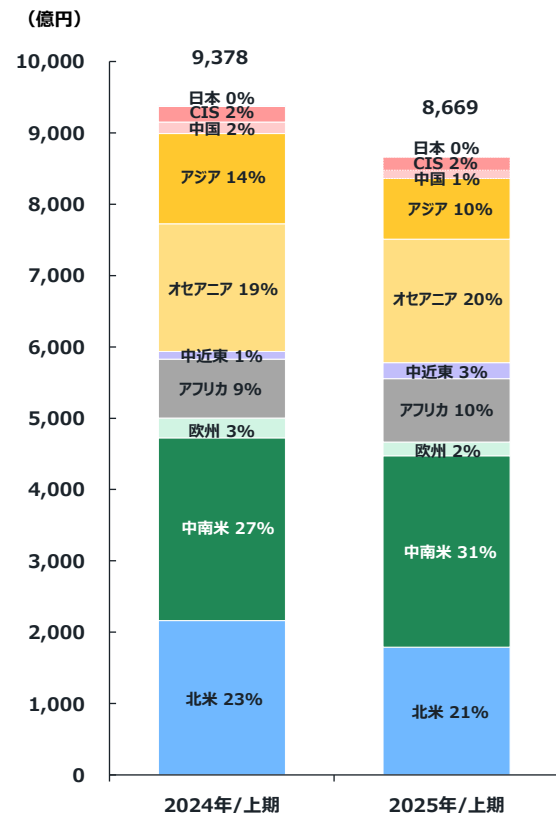


(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年/上期	2,812	815	1,231	260	415	564	909	260	95	1,507	8,867
2025年/上期	2,804	714	1,410	274	407	479	863	255	90	1,407	8,703
増減	▲ 8	▲ 100	+179	+14	▲ 8	▲ 85	▲ 46	▲ 5	▲ 5	▲ 99	▲ 163
増減 (為替影響除き)	+133	▲ 71	+179	+18	+16	▲ 51	▲ 21	+8	+20	▲ 99	+132

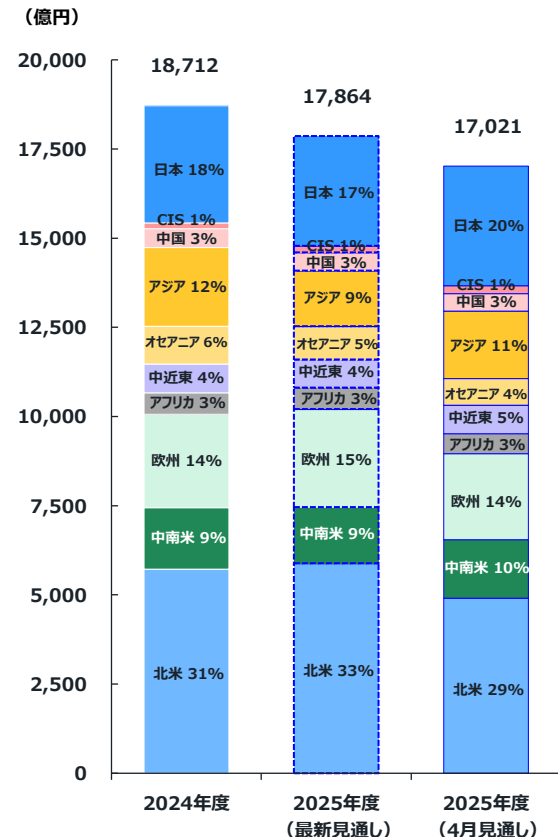
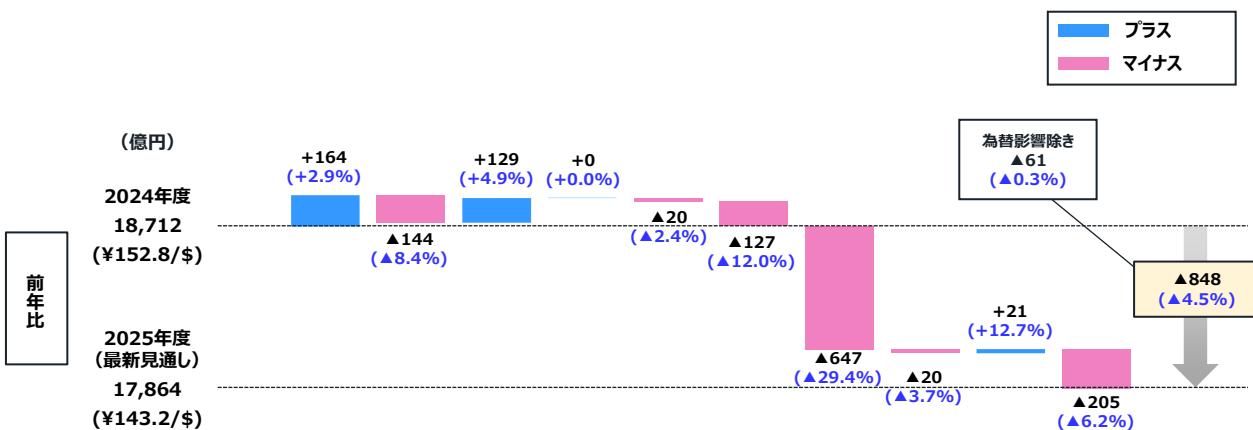
【参考資料】（鉦山機械）2025年度 上期（4-9月）の地域別売上高（外部顧客向け）



(億円)	米州		欧州 アフリカ 中近東			オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年 /上期	2,162	2,562	277	826	108	1,789	1,268	158	220	7	9,378
2025年 /上期	1,791	2,681	192	887	224	1,732	852	115	185	9	8,669
増減	▲ 371	+119	▲ 85	+62	+117	▲ 57	▲ 416	▲ 43	▲ 35	+1	▲ 709
増減 (為替影響除き)	▲ 280	+254	▲ 80	+88	+117	+67	▲ 366	▲ 37	▲ 43	+1	▲ 279

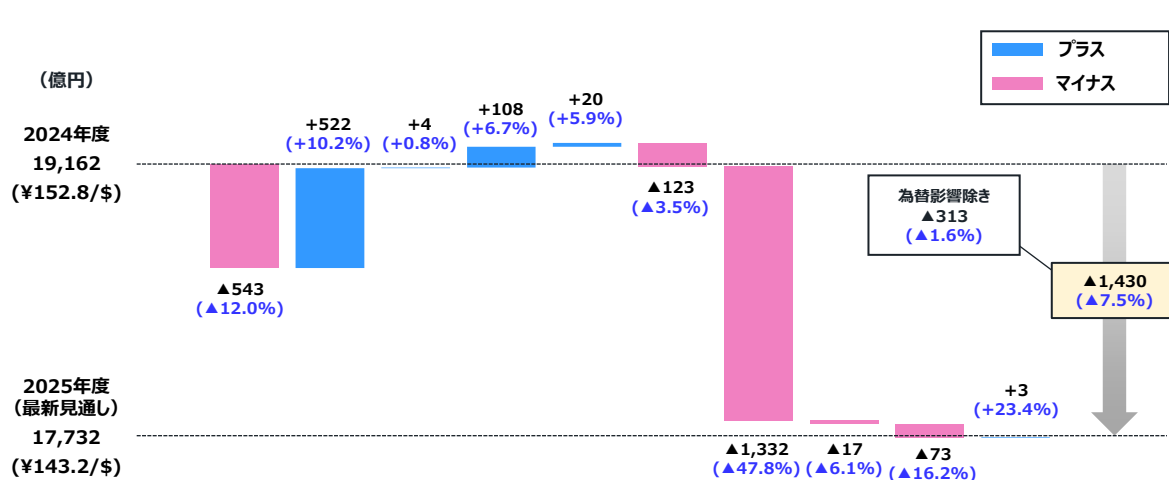


【参考資料】＜一般建機＞2025年度の地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

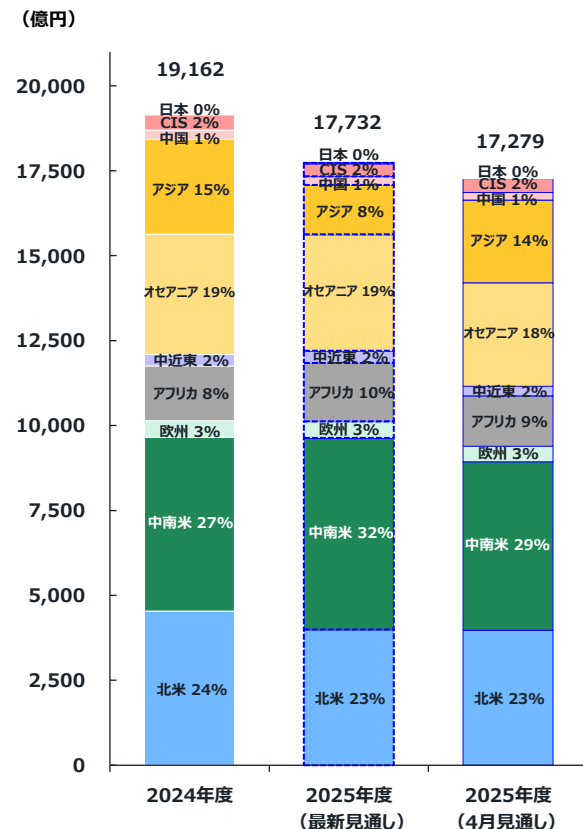


(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年度	5,723	1,719	2,619	601	808	1,060	2,205	531	164	3,282	18,712
2025年度 (最新見通し)	5,887	1,575	2,748	601	789	933	1,558	511	185	3,078	17,864
増減	+164	▲ 144	+129	+0	▲ 20	▲ 127	▲ 647	▲ 20	+21	▲ 205	▲ 848
増減 (為替影響除き)	+579	▲ 41	+107	+18	+39	▲ 58	▲ 558	+17	+42	▲ 204	▲ 61

【参考資料】＜鉦山機械＞2025年度の地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

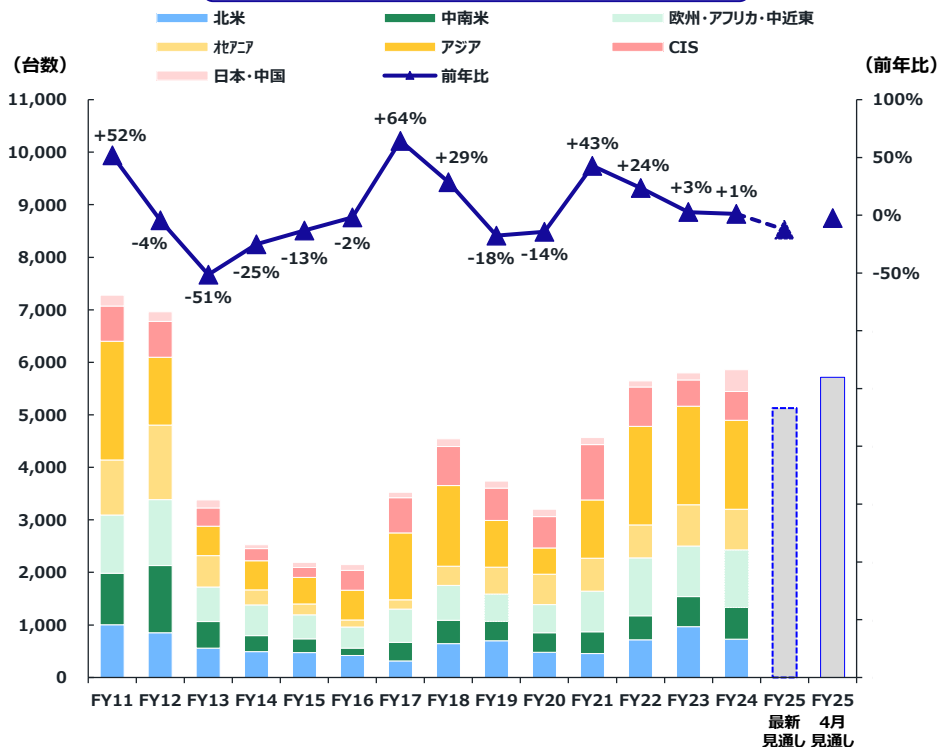


(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年度	4,541	5,117	485	1,610	338	3,548	2,787	271	451	14	19,162
2025年度 (最新見通し)	3,997	5,639	489	1,718	358	3,426	1,455	254	378	17	17,732
増減	▲ 543	+522	+4	+108	+20	▲ 123	▲ 1,332	▲ 17	▲ 73	+3	▲ 1,430
増減 (為替影響除き)	▲ 254	+914	+4	+170	+31	+130	▲ 1,224	+1	▲ 89	+3	▲ 313

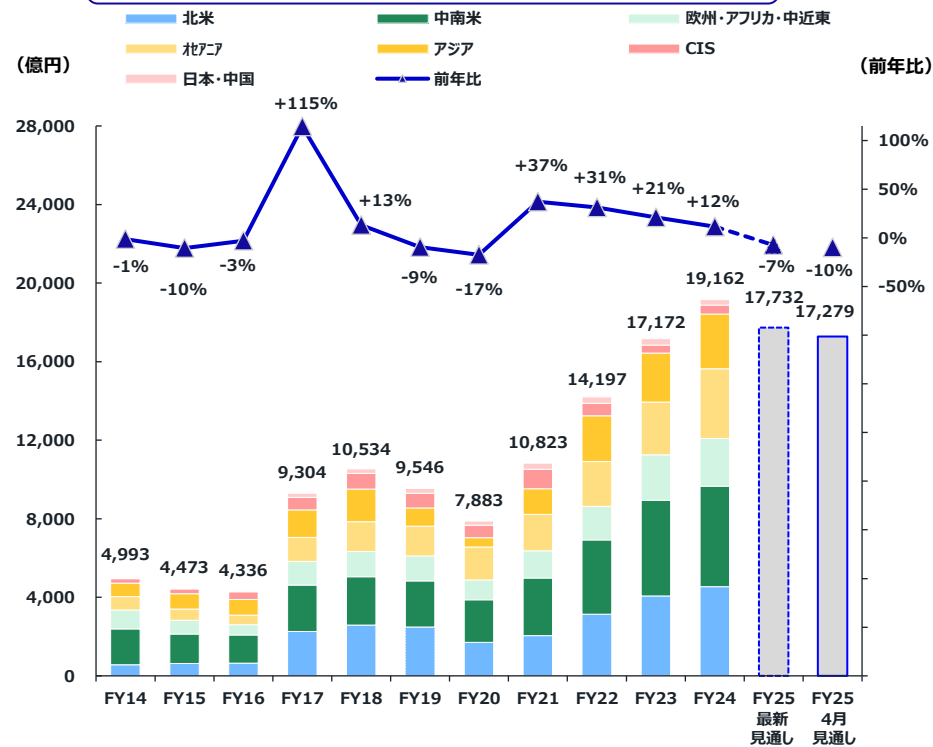


【参考資料】＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要・売上高の推移と見通し

鉱山機械 年度別需要推移



鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)

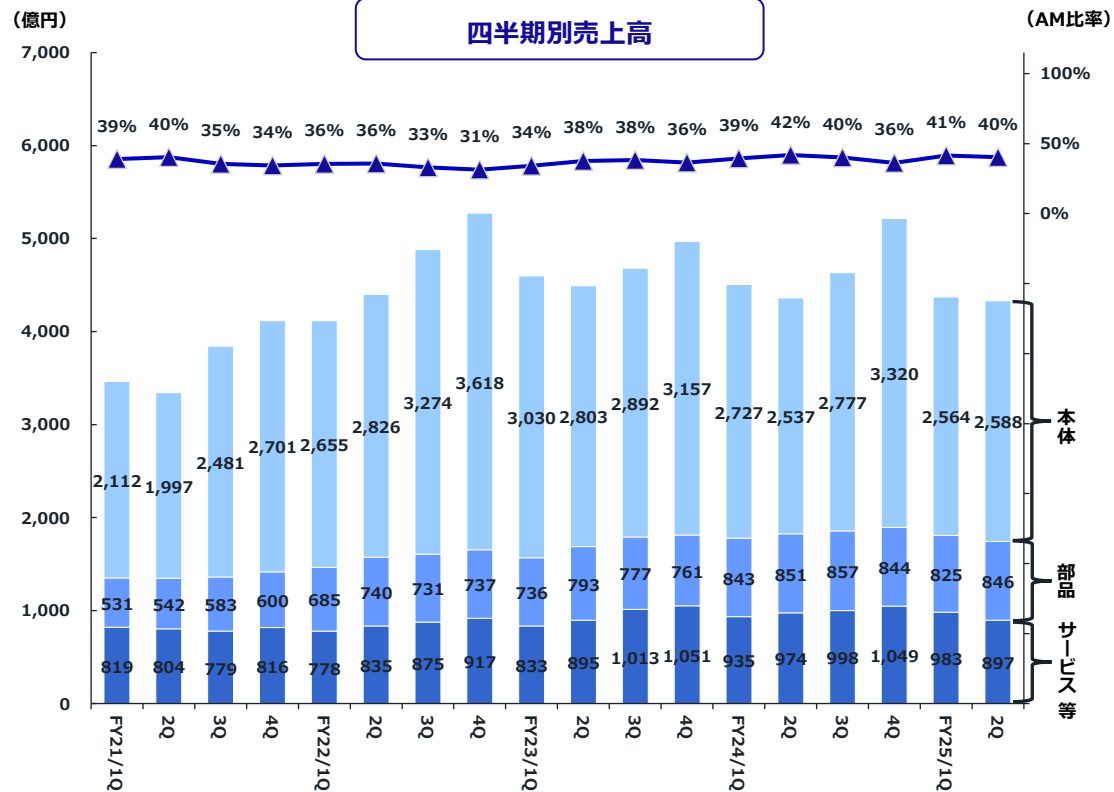
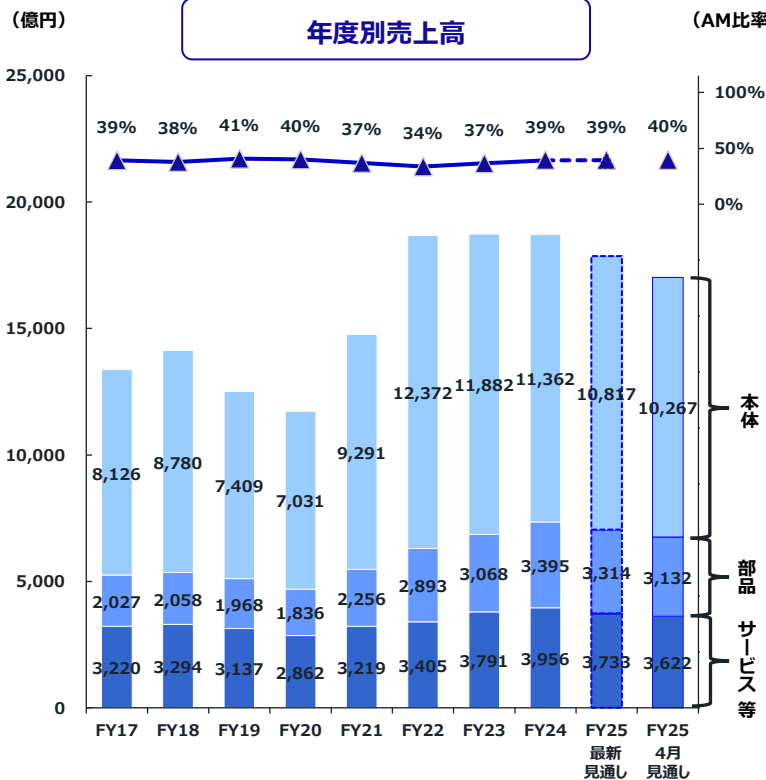


【出所】 コマツの推定

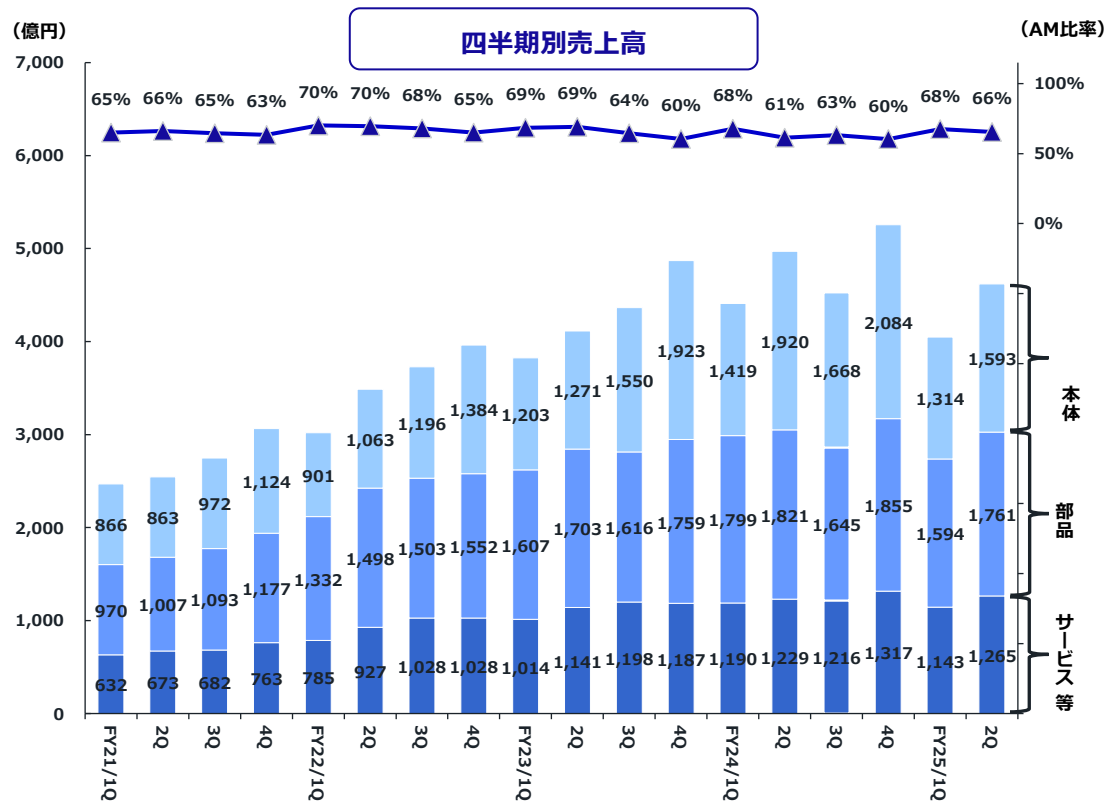
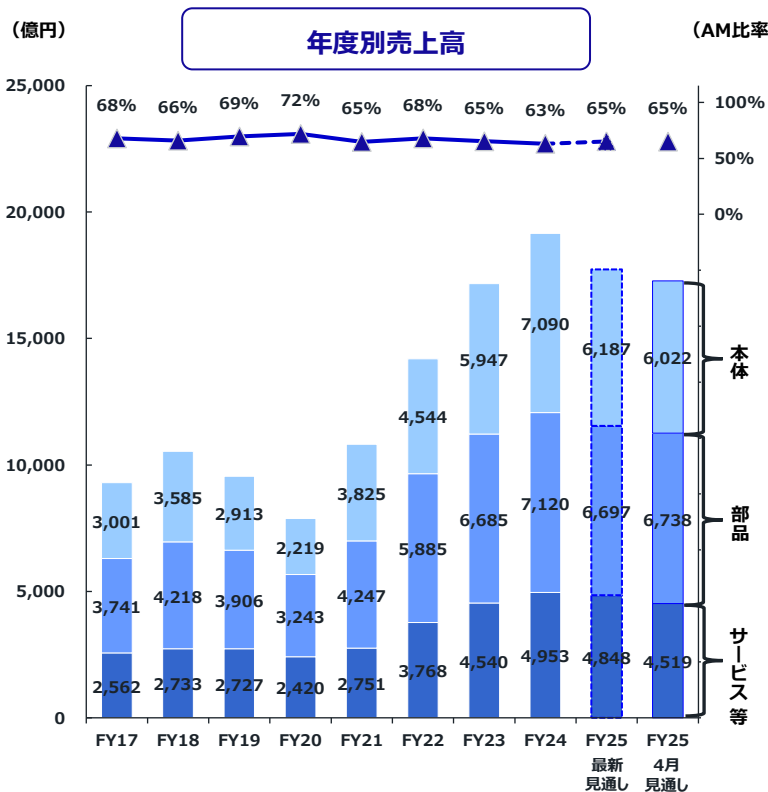
・タンクトラック：75 t (HD785) 以上
・エクスカバター：200 t (PC2000) 以上
・モーターレーダー：280HP (GD825) 以上

・フルトラクター：525HP (D375) 以上
・ホイールローダー：810HP (WA800) 以上

【参考資料】＜一般建機＞本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

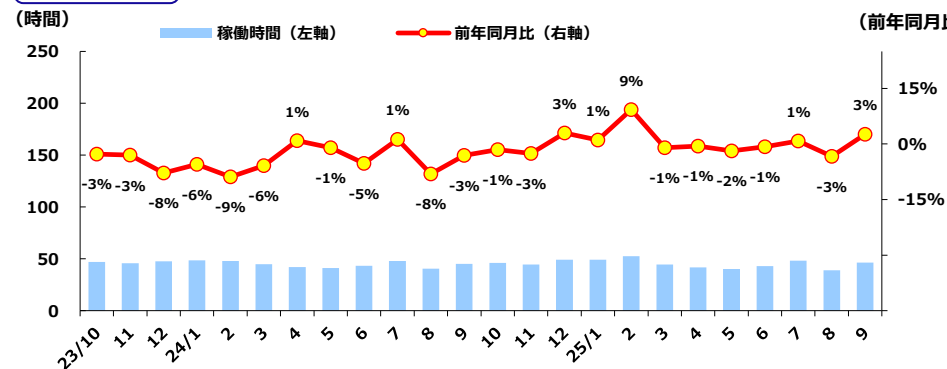


【参考資料】＜鉚山機械＞ 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

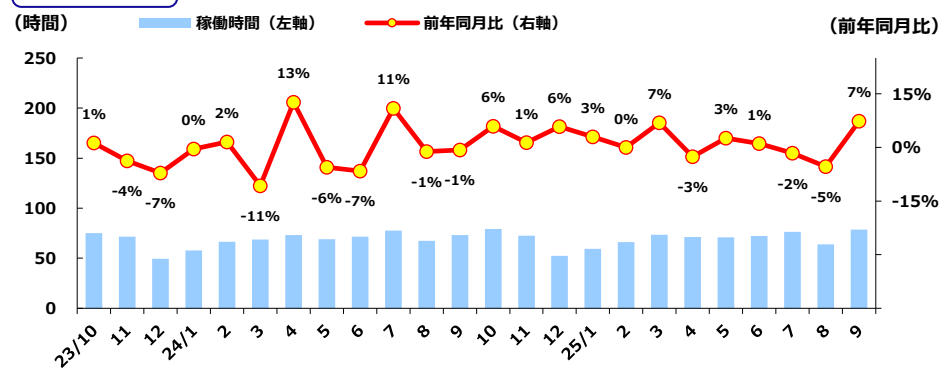


【参考資料】Komtrax 月平均稼働時間推移

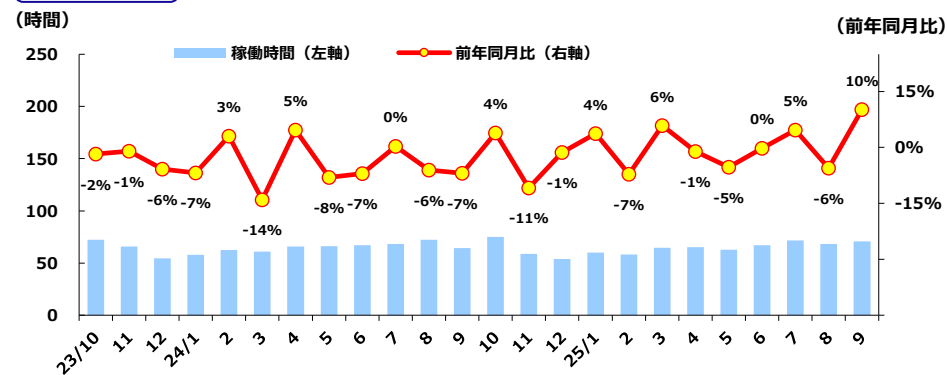
日本



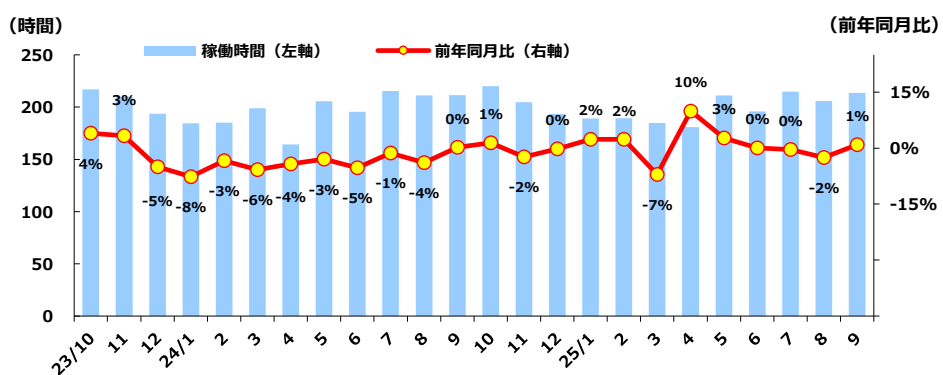
欧州



北米



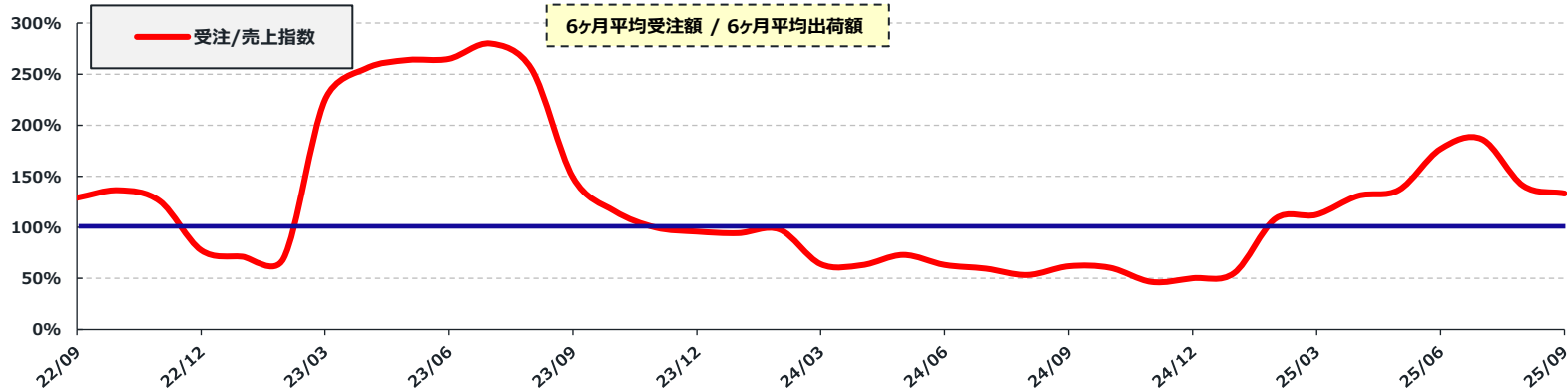
インドネシア



【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

コマツアメリカ (マイニング)

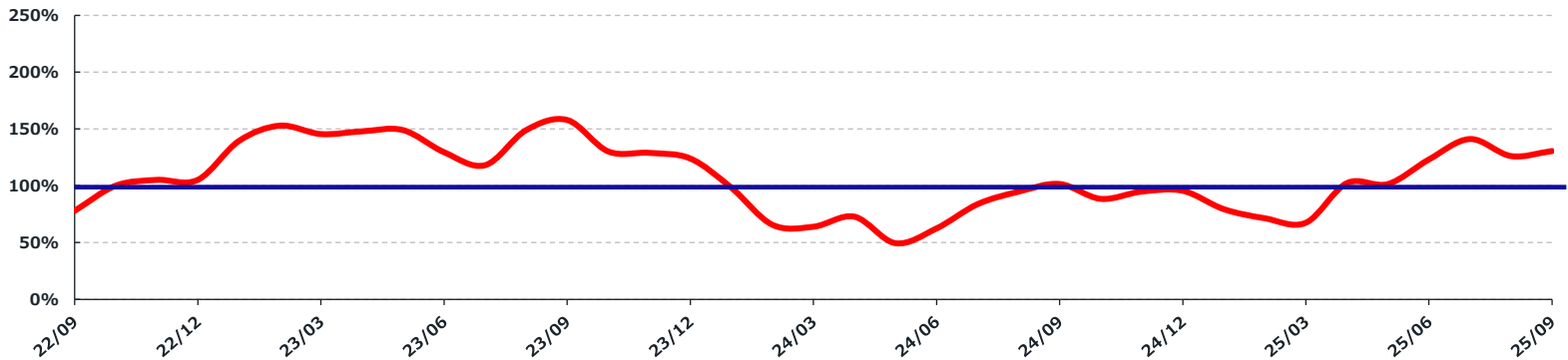
730E,830E,860E
930E,960E,980E



KMC (マイニング)

<露天掘り>
ロープショベル
プラストホールドリル
ドラグライン他

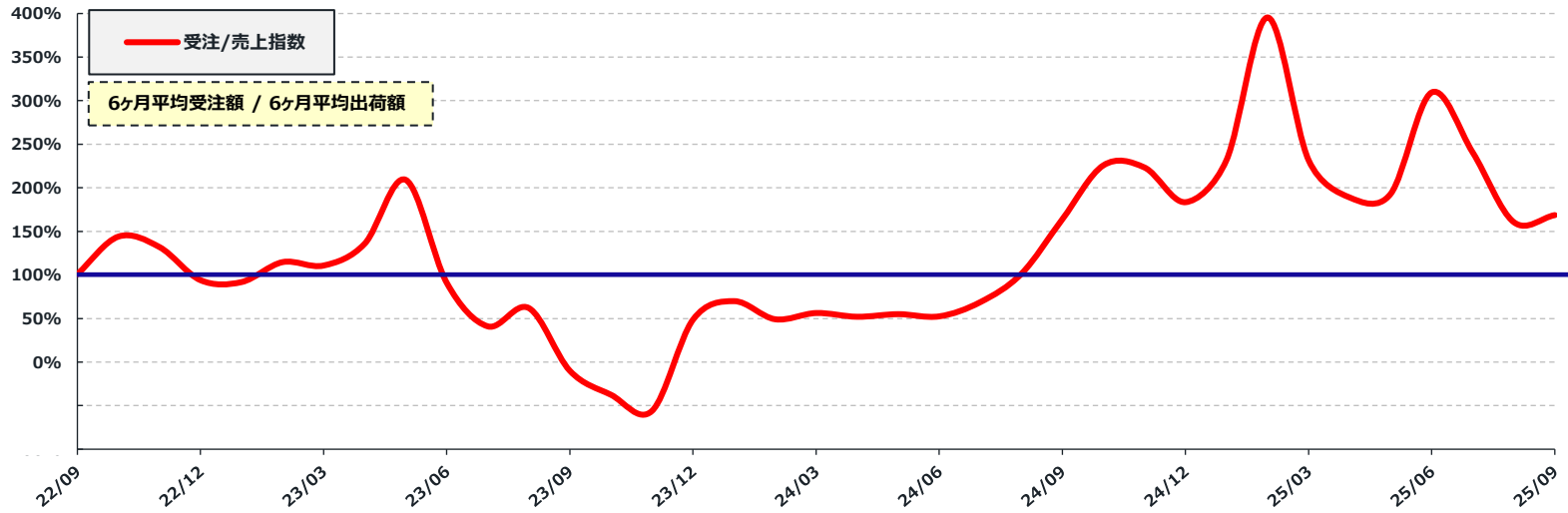
<坑内掘り>
コンティニアスマイナー
シアラー
ロードホールダンプ
ジャンボドリル他



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

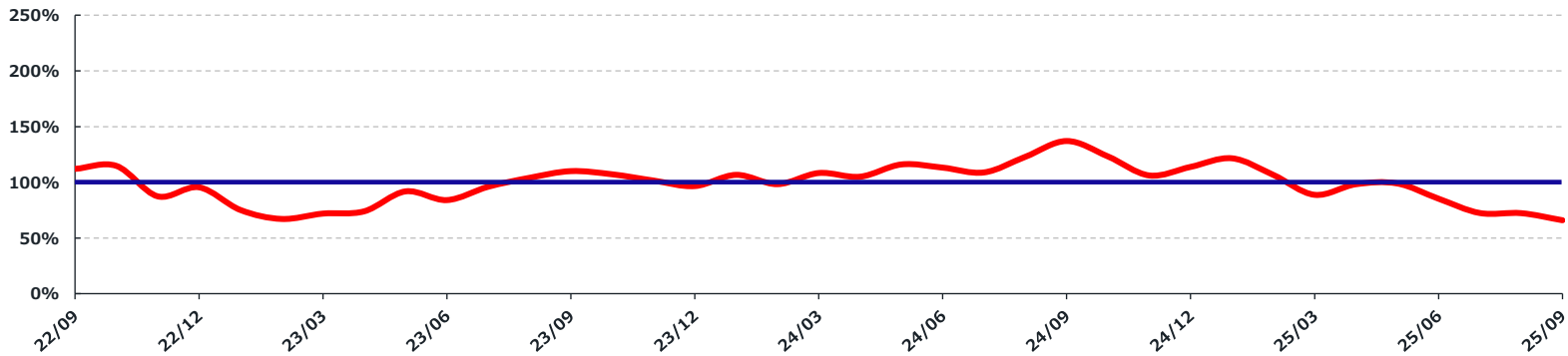
コマツドイツ (マイニング)

PC3000,PC4000
PC5500,PC7000
PC8000,PC9000



コマツ単独 (マイニング)

HD785,HD1500
PC2000,PC3400
WA800 up
D375A up
GD825A up



コートジボワールに代理店・お客様向けトレーニング拠点の開設 -西アフリカの中核拠点としての活用を目指す-

- コマツはコートジボワールに新たに建設機械のメカニックやオペレーターのトレーニング施設を設立します。
- 2026年の完成を目指しており、将来的に本体・部品の在庫機能やマーケティング機能なども備えた西アフリカの中核拠点としていきます。



-次世代鉱山機械向けSDV・自動化車両プラットフォームを開発- Applied Intuition社との協業を開始

- コマツは、米国のApplied Intuition社と、次世代鉱山機械の基幹技術となるソフトウェア・ディファインド・ビークル（SDV）アーキテクチャと自動化車両プラットフォームの開発に関する協業を開始しました。
- Applied Intuition社が保有する先進的なAI・シミュレーション技術と、コマツが培ってきた自動運転技術を組み合わせ、思考・学習・進化する鉱山機械の開発を推進します。



ティアフォー・コマツ・EARTHBRAIN 建設機械の自動運転技術の実用化に向けて協業開始

- コマツおよびコマツの子会社である株式会社EARTHBRAINは、このたびオープンソースの自動運転ソフトウェアを先導する株式会社ティアフォーと、建設機械の自動運転技術の実用化にむけた協業を開始しました。
- 3社は、日本の土木・採石現場向けに当社のアーティキュレートダンプトラックとリジッドダンプトラックの自動運転化を進め、2027年度までに自動運転システムの実用化を目指します。



統合報告書「コマツレポート2025」を発行

- コマツは、9月に統合報告書「コマツレポート2025」を発行しました。
- 2025年度よりスタートした新中期経営計画「Driving value with ambition 価値創造への挑戦」を中心に、中長期の持続的な企業価値向上に向けた当社の経営方針や企業活動をステークホルダーの皆さまにご紹介しています。



[コマツレポート2025へのリンク](#)

[読後アンケート](#)（ご協力いただいた方全員に「水中施工ロボット」壁紙をプレゼント）

特集1 プロジェクトストーリー（新世代油圧ショベル） 新たな顧客価値創造への挑戦



特集2 中期経営計画 重点活動 コマツが目指す未来のものづくり ー生産DX戦略



参考情報リンク先

株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2025/20250428_2

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2024>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

コマツ 経営管理部

TEL: 03-6849-9725

FAX: 03-6849-9795

<https://www.komatsu.jp/ja>